

# 熊本都市圏総合交通計画協議会 第3回 委員会

## (目次)

1	これまでの協議会について.....	1
2	実態調査について.....	10
(1)	本体調査 .....	12
(2)	付帯調査 .....	17
(3)	補完調査 .....	22
(4)	回収率向上方策 .....	45
3	将来像の仮設定及び調査内容の整理 .....	61
4	今後のスケジュール .....	66

令和5年 7月21日  
熊本県、熊本市

# 1 これまでの協議会について

# 1 これまでの協議会について

## これまでの協議会での審議事項

【令和4年 7月】	【令和4年12月】	【令和4年12月】	【令和5年3月】	【令和5年5月】	【令和5年7月】
熊本都市圏総合交通計画協議会 第1回委員会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第1回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第2回委員会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第2回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第3回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第3回委員会
<b>【審議事項】</b> (1) 協議会について (2) 総合都市交通体系調査について (3) 実態調査の概要 (4) 今後のスケジュール  ・これまでの総合都市交通体系調査の概要の確認 ・今回調査の背景及び目的の確認 ・今回調査の計画課題の確認 ・調査対象エリア案の確認（対象自治体案） ・目標サンプル数の考え方（案）の確認	<b>【審議事項】</b> (1) 協議会について (2) 熊本都市圏交通実態調査について 【①熊本都市圏交通実態調査の概要 ②実態調査の概要 ③今後のスケジュール】  ・PT調査の必要性確認 ・今回調査の背景及び目的の確認 ・今回調査の計画課題の確認 ・現在マスタープランの振り返り ・熊本都市圏交通の将来像の検討内容の確認 ・熊本都市圏総合都市交通体系調査の流れの確認 ・調査対象エリアの確認（対象自治体案、ゾーニング案） ・目標サンプル数及び調査方法の確認 ・予測モデルの確認（アクティビティベースモデル）	<b>【審議事項】</b> (1) 第1回委員会資料 (2) 熊本都市圏総合都市交通体系調査 (3) 実態調査 (4) 今後のスケジュール  ・これまでの総合都市交通体系調査の概要の修正 ・熊本都市圏交通の将来像の検討内容の確認 ・熊本都市圏総合都市交通体系調査の手順の確定 ・調査対象エリアの確定（対象自治体、ゾーニング） ・目標サンプル数及び調査方法の確定 ・予測モデルの確定 ・本体調査の1年延期の確定	<b>【審議事項】</b> (1) 第2回委員会での意見及び対応方針について (2) パーソントリップ調査について 【①熊本PT調査方針について ②熊本都市圏交通実態調査(案) ③今後のスケジュール】  ・熊本都市圏交通の将来像(仮設定案) ・検討したい施策の評価イメージの確認 ・調査内容の確認（調査票案、付帯調査案、補完調査案（コードライン調査案、着地調査案、スクリーンライン調査案） ・回収率向上策案の確認 ・PRや関係者の意見聴取案の確認 ・予測モデルの事前検討を実施することの確認	<b>【審議事項】</b> (1) 第2回幹事会での意見及び対応方針について (2) パーソントリップ調査について 【①熊本都市圏交通実態調査(案) ②今後のスケジュール】  ・熊本都市圏交通の将来像(仮設定修正案) ・検討したい施策の評価イメージの修正案確認 ・調査内容修正案確認（調査票案、付帯調査案、補完調査案（コードライン調査案：調査票案の提示、着地調査案、スクリーンライン調査案） ・WEB調査票（例示、WEB調査票への誘導、併用回答の許容） ・各種調査マニュアルの確認 ・広報戦略の確認	<b>【審議事項】</b> (1) これまでの協議会について (2) 実態調査について ①本体調査 ②付帯調査 ③補完調査 ④回収率向上方策  (3) 将来像の仮設定及び調査内容の整理  (4) 今後のスケジュール

# 1 これまでの協議会について

## 熊本都市圏総合交通計画協議会 第1回委員会の概要

### ■実施日

令和4年（2022年）7月7日（木）

### ■主な審議事項

・協議会要綱 ・これまでの総合都市交通体系調査 ・今回調査の背景及び目的 など

#### 資料 1

熊本都市圏総合都市交通計画協議会要綱（案）

（名称）

第1条 本会は、熊本都市圏総合都市交通計画協議会（以下「協議会」という。）と称する。

（目的）

第2条 協議会は、熊本都市圏（以下「都市圏」という。）における望ましい交通のあるべき姿を目指して、関係機関相互により総合的な都市交通に関する検討及び協議を行うことを目的とする。

（協議事項）

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項について検討及び協議する。

### （1）これまでの総合都市交通体系調査

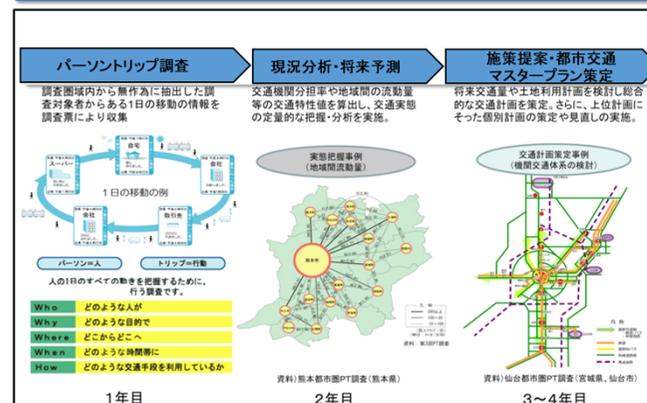
#### 2) これまでの総合都市交通体系調査の概要

	第1回	第2回	第3回	第4回
実地調査年	S48	S59	H9	H24
調査地域	熊本市を中心とする1市9町	熊本市を中心とする2市18町1村	熊本市を中心とする2市14町1村	熊本市を中心とする5市6町1村
都市圏人口	約57万人	約87万人	約98万人	約104万人
主な提案施策	・都市内幹線道路： ①九州縦貫道 ②熊本北バイパス ③熊本東バイパス ④菊陽バイパス ・都市内幹線道路： ⑤近見沖新線 ⑥熊本駅北線 ⑦熊本駅新外線 ⑧新外線線路 など <長期的構想> ・船場沖水線、野口清水線、本荘御幸線 など	・西回り道路（仮称）、熊本駅池上線、保田窪菊陽線、御嶺秋津線、国道3号（熊本、富合工区）、国道57号（大津～阿蘇間） など ・新駅の設置（東海学園前駅、近見駅、熊本工大前駅、新水前寺駅（市電との乗り継ぎ利便性向上含む）、弓削駅、橋駅） ・市電の地下化（交通局前～熊本駅前、水道町前～藤崎宮前） ・連続立体化（鹿兒島本線、豊肥本線） ・ターミナル（熊本駅、神水）	・骨格幹線道路：熊本環状道路、熊本天草幹線道路、中九州横断道路、有明海沿岸道路 ・幹線道路網-街路：（都）上熊本工場前線、春日池上線、（仮）新水前寺山線 ・新たな基幹公共交通ネットワークの整備（熊本空港方面、熊本港方面、菊山・長嶺方面 など） ・市電のLRT化 ・熊本電鉄の高機能化（車両のLRV化） ・相互乗り入れ（JR・熊本電鉄・市電） ・バス専用レーン、公共交通優先信号、バス接近表示システムの整備 ・乗り継ぎ割引制度の導入 など	・2環状線11放射道路網 <環状道路> ・（都）上熊本弓削線、（都）池田町花園線、熊本西環状道路、国道57号熊本東バイパス など <放射道路> ・国道3号熊本バイパス、中九州横断道路、国道3号熊本幹線道路、有明海沿岸道路 など ・基幹公共交通9軸の整備 <熊本市電> ・既存区間の機能強化（多層編成化 など） ・延伸（益城・空港方面、田崎峠山方面 など） <熊本電鉄> ・既存区間の機能強化（運行本数 など） <路線バス> ・乗換拠点整備（各方面） など

### （1）これまでの総合都市交通体系調査

#### 1) パーソントリップ調査とは

- パーソントリップ調査は、自転車・バス・自動車・鉄道等の交通手段別の人の動きを定量的に把握するもの。
- 公共交通計画や道路交通計画など、様々な計画策定で必要となる基礎データとなる。



総合交通戦略策定

### （3）今回調査の背景及び目的

#### 背景

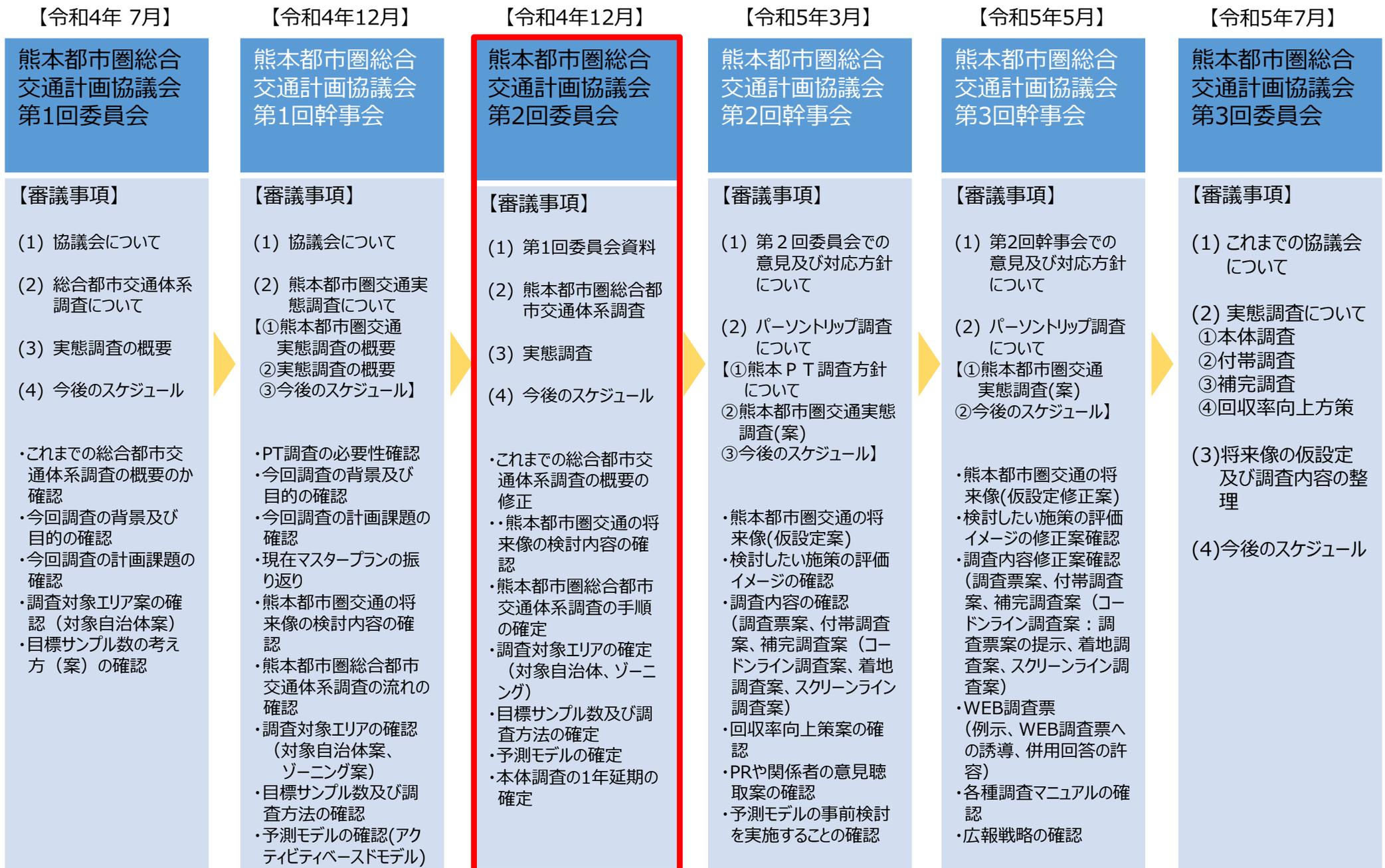
- 第4回調査から約10年が経過し、
    - ・人口減少や高齢化の進展、慢性的な交通渋滞などの継続的な課題
    - ・熊本地震で大きな交通環境の変化が生じたことによるマスタープランの進捗状況の確認や交通の防災機能強化への対応
    - ・交通に関する施設整備（熊本駅周辺整備、サクラマチクマモト等）、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新しい生活様式、ICT等の新技術、様々な計画の策定（新広域道路交通計画、大空港構想Next Stage等）などの社会情勢の変化
- により交通状況に大きな変化が生じている。

#### 目的

- 将来の都市圏交通のあり方を提案するにあたり、現況分析・将来予測及び現在のマスタープランの検証を行い、社会情勢の変化に対応した施策の見直しを行うため、交通実態を把握するための調査を実施するもの。

# 1 これまでの協議会について

## これまでの協議会での審議事項



# 1 これまでの協議会について

## 熊本都市圏総合交通計画協議会 第2回委員会の概要

### ■実施日

令和4年（2022年）12月23日（金）

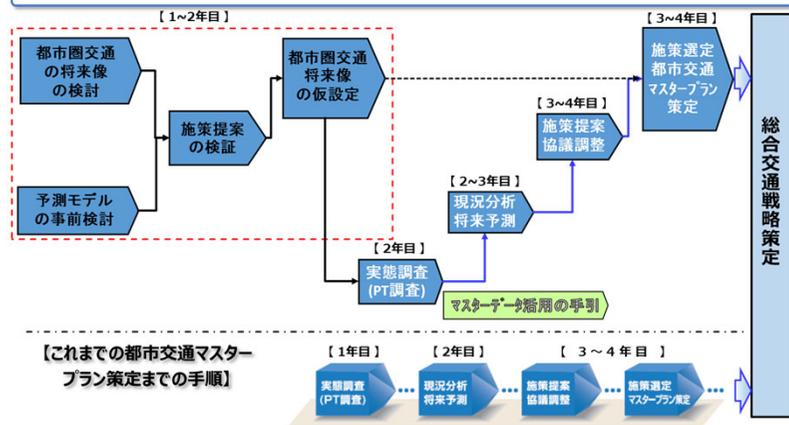
### ■主な審議事項

・交通体系調査の手順 ・調査対象エリア ・目標サンプル数及び調査方法 ・予測モデル など

### （6）熊本都市圏総合都市交通体系調査の手順

#### 1) 熊本都市圏総合都市交通体系調査の手順

○今回調査は、これまでの都市交通マスタープラン策定までの手順と異なり、事前に都市圏交通の将来像を仮設定し、施策に向けた調査項目を設定しながら実態調査方針を決定。



### （1）調査対象エリア

- ・実態調査の対象市町村は、前回調査と同様に、熊本市との結びつき（通勤・通学の割合等）の強い5市6町1村とする。
- ・調査対象エリアは、菊池市、宇城市で拡大。



### （2）目標サンプル数及び調査方法

- 調査対象者：対象市町村に居住する世帯のうち、国勢調査から無作為抽出した約44,300世帯の5歳以上の方
- 調査方法：郵送配布、Web回収
- 目標サンプル数：約25,140人（R2国勢調査 5歳以上人口 1,047,199人×約2.4% = 25,138人）
- 配布世帯数：約44,300世帯（25,140人÷2.27人/世帯÷25%（回収率） = 44,292世帯）

#### 考え方

「総合都市交通体系調査の手引書(案) (2007年9月 国土交通省都市・地域整備局都市計画課都市交通室(案))」をもとに必要な抽出率を設定し、目標とするサンプル数を算出

精度については、公共交通利用者数等の現状利用者数との比較により、再現性を検証する予定

#### 必要抽出率

区分	保証内容	カテゴリ数
OD精度	行政区 (12×12) 手段別 (5) のOD量	12×12×5 = 720
属性別トリップパターン	属性 (12) × トリップパターン (11)	12×11 = 132
発生交通量	熊本都市圏ゾーン+その他ゾーン (153) 目的別 (4) の発生交通量	153×4 = 612
発生交通量	熊本都市圏ゾーン+その他ゾーン (179) 目的別 (4) の発生交通量	179×4 = 716

**必要抽出率 = 2.4%**

総トリップ数 = 291万トリップ日  
カテゴリ数 = 720

#### カテゴリ区分

▼発生世帯の性別・年齢階級別・世帯属性別の区分

世帯属性	性別	年齢	区分
15歳以下	男	0-4	1
15歳以下	女	0-4	2
15歳以下	男	5-14	3
15歳以下	女	5-14	4
15歳以下	男	15-19	5
15歳以下	女	15-19	6
15歳以下	男	20-24	7
15歳以下	女	20-24	8
15歳以下	男	25-29	9
15歳以下	女	25-29	10
15歳以下	男	30-34	11
15歳以下	女	30-34	12
15歳以下	男	35-39	13
15歳以下	女	35-39	14
15歳以下	男	40-44	15
15歳以下	女	40-44	16
15歳以下	男	45-49	17
15歳以下	女	45-49	18
15歳以下	男	50-54	19
15歳以下	女	50-54	20
15歳以下	男	55-59	21
15歳以下	女	55-59	22
15歳以下	男	60-64	23
15歳以下	女	60-64	24
15歳以下	男	65-69	25
15歳以下	女	65-69	26
15歳以下	男	70歳以上	27
15歳以下	女	70歳以上	28
計			29

#### トリップパターンの属性

属性	区分
1 通勤	1
2 通学	2
3 買い物	3
4 娯楽	4
5 散歩	5
6 散歩	6
7 散歩	7
8 散歩	8
9 散歩	9
10 散歩	10
11 散歩	11
12 散歩	12
13 散歩	13
14 散歩	14
15 散歩	15
16 散歩	16
17 散歩	17
18 散歩	18
19 散歩	19
20 散歩	20
21 散歩	21
22 散歩	22
23 散歩	23
24 散歩	24
25 散歩	25
26 散歩	26
27 散歩	27
28 散歩	28
29 散歩	29
30 散歩	30
31 散歩	31
32 散歩	32
33 散歩	33
34 散歩	34
35 散歩	35
36 散歩	36
37 散歩	37
38 散歩	38
39 散歩	39
40 散歩	40
41 散歩	41
42 散歩	42
43 散歩	43
44 散歩	44
45 散歩	45
46 散歩	46
47 散歩	47
48 散歩	48
49 散歩	49
50 散歩	50
51 散歩	51
52 散歩	52
53 散歩	53
54 散歩	54
55 散歩	55
56 散歩	56
57 散歩	57
58 散歩	58
59 散歩	59
60 散歩	60
61 散歩	61
62 散歩	62
63 散歩	63
64 散歩	64
65 散歩	65
66 散歩	66
67 散歩	67
68 散歩	68
69 散歩	69
70 散歩	70
71 散歩	71
72 散歩	72
73 散歩	73
74 散歩	74
75 散歩	75
76 散歩	76
77 散歩	77
78 散歩	78
79 散歩	79
80 散歩	80
81 散歩	81
82 散歩	82
83 散歩	83
84 散歩	84
85 散歩	85
86 散歩	86
87 散歩	87
88 散歩	88
89 散歩	89
90 散歩	90
91 散歩	91
92 散歩	92
93 散歩	93
94 散歩	94
95 散歩	95
96 散歩	96
97 散歩	97
98 散歩	98
99 散歩	99
100 散歩	100

#### トリップパターン

属性	区分
1 通勤	1
2 通学	2
3 買い物	3
4 娯楽	4
5 散歩	5
6 散歩	6
7 散歩	7
8 散歩	8
9 散歩	9
10 散歩	10
11 散歩	11
12 散歩	12
13 散歩	13
14 散歩	14
15 散歩	15
16 散歩	16
17 散歩	17
18 散歩	18
19 散歩	19
20 散歩	20
21 散歩	21
22 散歩	22
23 散歩	23
24 散歩	24
25 散歩	25
26 散歩	26
27 散歩	27
28 散歩	28
29 散歩	29
30 散歩	30
31 散歩	31
32 散歩	32
33 散歩	33
34 散歩	34
35 散歩	35
36 散歩	36
37 散歩	37
38 散歩	38
39 散歩	39
40 散歩	40
41 散歩	41
42 散歩	42
43 散歩	43
44 散歩	44
45 散歩	45
46 散歩	46
47 散歩	47
48 散歩	48
49 散歩	49
50 散歩	50
51 散歩	51
52 散歩	52
53 散歩	53
54 散歩	54
55 散歩	55
56 散歩	56
57 散歩	57
58 散歩	58
59 散歩	59
60 散歩	60
61 散歩	61
62 散歩	62
63 散歩	63
64 散歩	64
65 散歩	65
66 散歩	66
67 散歩	67
68 散歩	68
69 散歩	69
70 散歩	70
71 散歩	71
72 散歩	72
73 散歩	73
74 散歩	74
75 散歩	75
76 散歩	76
77 散歩	77
78 散歩	78
79 散歩	79
80 散歩	80
81 散歩	81
82 散歩	82
83 散歩	83
84 散歩	84
85 散歩	85
86 散歩	86
87 散歩	87
88 散歩	88
89 散歩	89
90 散歩	90
91 散歩	91
92 散歩	92
93 散歩	93
94 散歩	94
95 散歩	95
96 散歩	96
97 散歩	97
98 散歩	98
99 散歩	99
100 散歩	100

### （3）予測モデル ～従来分析手法との違い～

#### 四段階推定法

○都市圏全体の総トリップ数を、ゾーン及び交通ネットワークに段階的に割り当てる手法

地区特性やネットワーク特性を考慮して総トリップ数を振り分ける

総トリップ数 = 291万トリップ日  
カテゴリ数 = 720

#### アクティビティ型交通行動モデル

○各個人の様々な属性情報や地区特性、交通条件等を加味し、1人の1日の移動や活動を推定する手法

属性、居住地、勤務地、交通条件等を考慮して、個人の1日の活動・移動を推定する

#### 概要

○交通の需給バランスの分析に適する  
- 道路や鉄道の混雑対策 (新規整備、拡幅、新線整備など)

○交通量(トリップ数)を用いる指標の算出に適する  
- トリップ数  
- トリップ数に原単位を乗じる指標 (事故損失額やCO2排出量など)

#### 推計のイメージ

○個人の属性や状況等に影響を及ぼす施策の評価に適する (料金施策、移動困難対策など)

○トリップチェーンの分析に適する (乗り継ぎ施策、MaaSなど)

○時間の評価が可能

○各地区の滞留人口を評価可能 - 帰宅困難者対策

○集計することで交通量も算出可能

#### 必要抽出率

必要抽出率 = 2.4%

総トリップ数 = 291万トリップ日  
カテゴリ数 = 720

#### 必要抽出率

必要抽出率 = 2.4%

総トリップ数 = 291万トリップ日  
カテゴリ数 = 720

# 1 これまでの協議会について

## これまでの協議会での審議事項

【令和4年 7月】	【令和4年12月】	【令和4年12月】	【令和5年3月】	【令和5年5月】	【令和5年7月】
熊本都市圏総合交通計画協議会 第1回委員会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第1回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第2回委員会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第2回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第3回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第3回委員会
<b>【審議事項】</b> (1) 協議会について (2) 総合都市交通体系調査について (3) 実態調査の概要 (4) 今後のスケジュール  ・これまでの総合都市交通体系調査の概要の確認 ・今回調査の背景及び目的の確認 ・今回調査の計画課題の確認 ・調査対象エリア案の確認（対象自治体案） ・目標サンプル数の考え方（案）の確認	<b>【審議事項】</b> (1) 協議会について (2) 熊本都市圏交通実態調査について <b>【①熊本都市圏交通実態調査の概要 ②実態調査の概要 ③今後のスケジュール】</b>  ・PT調査の必要性確認 ・今回調査の背景及び目的の確認 ・今回調査の計画課題の確認 ・現在マスタープランの振り返り ・熊本都市圏交通の将来像の検討内容の確認 ・熊本都市圏総合都市交通体系調査の流れの確認 ・調査対象エリアの確認（対象自治体案、ゾーニング案） ・目標サンプル数及び調査方法の確認 ・予測モデルの確認（アクティビティベースモデル）	<b>【審議事項】</b> (1) 第1回委員会資料 (2) 熊本都市圏総合都市交通体系調査 (3) 実態調査 (4) 今後のスケジュール  ・これまでの総合都市交通体系調査の概要の修正 ・熊本都市圏交通の将来像の検討内容の確認 ・熊本都市圏総合都市交通体系調査の手順の確定 ・調査対象エリアの確定（対象自治体、ゾーニング） ・目標サンプル数及び調査方法の確定 ・予測モデルの確定 ・本体調査の1年延期の確定	<b>【審議事項】</b> (1) 第2回委員会での意見及び対応方針について (2) パーソントリップ調査について <b>【①熊本PT調査方針について ②熊本都市圏交通実態調査(案) ③今後のスケジュール】</b>  ・熊本都市圏交通の将来像(仮設定案) ・検討したい施策の評価イメージの確認 ・調査内容の確認（調査票案、付帯調査案、補完調査案（コードライン調査案、着地調査案、スクリーンライン調査案） ・回収率向上策案の確認 ・PRや関係者の意見聴取案の確認 ・予測モデルの事前検討を実施することの確認	<b>【審議事項】</b> (1) 第2回幹事会での意見及び対応方針について (2) パーソントリップ調査について <b>【①熊本都市圏交通実態調査(案) ②今後のスケジュール】</b>  ・熊本都市圏交通の将来像(仮設定修正案) ・検討したい施策の評価イメージの修正案確認 ・調査内容修正案確認（調査票案、付帯調査案、補完調査案（コードライン調査案：調査票案の提示、着地調査案、スクリーンライン調査案） ・WEB調査票（例示、WEB調査票への誘導、併用回答の許容） ・各種調査マニュアルの確認 ・広報戦略の確認	<b>【審議事項】</b> (1) これまでの協議会について (2) 実態調査について <b>①本体調査 ②付帯調査 ③補完調査 ④回収率向上方策</b>  (3) 将来像の仮設定及び調査内容の整理 (4) 今後のスケジュール

# 1 これまでの協議会について

## 熊本都市圏総合交通計画協議会 第2回幹事会の概要

### ■実施日

令和5年（2023年）3月23日（木）

### ■主な議題

(1) 第2回委員会での意見及び対応方針について

(2) パーソントリップ調査について（①熊本PT調査方針について ②熊本都市圏交通実態調査(案) ③今後のスケジュール）

## 主な指摘事項と対応状況

区分	指摘事項	対応状況
将来像の仮設定	将来像の仮設定における環境負荷の低減という視点が、施策展開の方向性のどこに当たるのかわかりにくい。例えば、環境負荷の低減が図れるような評価指標があるとわかりやすいと思うが、どうか。	施策に応じた環境低減に関わる指標を設定
各種調査票	回答方法について、紙媒体・WEB併用方式を基本としているが、世帯の中で、紙媒体とWEBを分けて回答することができないか。世帯の中でも、年配の方は紙媒体を、若い方はWEB回答を希望されると思う。他都市の事例等を参考に確認を。	世帯内で紙媒体、WEB回答を任意で選択可能なように対応

# 1 これまでの協議会について

## 熊本都市圏総合交通計画協議会 第3回幹事会の概要

### ■実施日

令和5年（2023年）5月29日（月）

### ■主な議題

(1) 第2回幹事会での意見及び対応方針について

(2) パーソントリップ調査について (①熊本都市圏交通実態調査（案） ②今後のスケジュール)

## 主な指摘事項と対応状況

区分	指摘事項	対応状況
本体調査	世帯票において、職業の質問について他都市圏で1次産業、2次産業、3次産業でしか質問していないため、踏襲してもよいと思うが、就業形態は、自営主、非正規従業者、派遣、パート・アルバイト等の雇用形態が把握できるようになっているが、必要ないか検討いただきたい。	追加するよう修正。 ①東京PT等では就業形態を継続的に調査しており、第6回調査からH27全国PTで正規、非正規が追加。 ②新たな都市交通調査体系のあり方に関する検討会において示された調査票レイアウト案においても記載。 (今後の全国、他都市圏との比較分析も想定される)
本体調査	WEB調査において、例えば郵送先（住所、名前）とログインID、PWが把握できているため、世帯の現住所は自動的に入力されるようにしておけば、回答の省力化が図られると思う。	回答者がWEB調査のページに住所が既に入力されていることに、調査に対する不信感等を抱き、回答率低下を招く恐れがあることから、対応は見送り。
付帯調査	付帯調査において、「普段の生活に関する調査」という言葉であるが、調べたところ、「普段」という語句は、「公用文作成の考え方（建議）（令和4年1月7日）文化審議会」において、いわゆる当て字や熟字訓に該当するため、記載の方法を検討いただきたい。	『公用文作成の考え方（建議）（付）「公用文作成の考え方（文化審議会建議）解説」（令和4年1月7日）文化審議会』の、「基本的な考え方」1公用文作成の在り方 (1) 読み手とのコミュニケーションとして捉える エ 解説・広報等では、より親しみやすい表記を用いてもよい。とある。また、 同 (2) 文章の目的や種類に応じて考える エ 広く一般に向けた解説・広報等では、特別な知識を持たない人にとっての読みやすさを優先し、書き表し方を工夫するとともに、施策への関心を育むよう工夫する。とあることから、新聞等でも使用されているため、漢字を使用する。
付帯調査	付帯調査の内容はこれでいいのか。熊本市以外の市町村にも確認してもらいたい。	以前のアンケート調査結果を基に、再度、関係市町村に意見照会を行い、必要性を再確認及び調査票を修正。自由記述欄を追加
補完調査	コードライン調査について、OD調査がサンプル調査であれば、拡大方法はどのように実施するか検討が必要である。 また、JR熊本駅と阿蘇くまもと空港の全利用者数は別途把握されるか。	拡大方法については今後検討。 JR熊本駅と阿蘇くまもと空港の乗降客数は、乗降客数調査を実施するため全利用者数を把握。

# 1 これまでの協議会について

## これまでの協議会での審議事項

【令和4年 7月】	【令和4年12月】	【令和4年12月】	【令和5年3月】	【令和5年5月】	【令和5年7月】
熊本都市圏総合交通計画協議会 第1回委員会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第1回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第2回委員会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第2回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第3回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第3回委員会
<b>【審議事項】</b> (1) 協議会について (2) 総合都市交通体系調査について (3) 実態調査の概要 (4) 今後のスケジュール  ・これまでの総合都市交通体系調査の概要の確認 ・今回調査の背景及び目的の確認 ・今回調査の計画課題の確認 ・調査対象エリア案の確認（対象自治体案） ・目標サンプル数の考え方（案）の確認	<b>【審議事項】</b> (1) 協議会について (2) 熊本都市圏交通実態調査について <b>【①熊本都市圏交通実態調査の概要 ②実態調査の概要 ③今後のスケジュール】</b>  ・PT調査の必要性確認 ・今回調査の背景及び目的の確認 ・今回調査の計画課題の確認 ・現在マスタープランの振り返り ・熊本都市圏交通の将来像の検討内容の確認 ・熊本都市圏総合都市交通体系調査の流れの確認 ・調査対象エリアの確認（対象自治体案、ゾーニング案） ・目標サンプル数及び調査方法の確認 ・予測モデルの確認（アクティビティベースモデル）	<b>【審議事項】</b> (1) 第1回委員会資料 (2) 熊本都市圏総合都市交通体系調査 (3) 実態調査 (4) 今後のスケジュール  ・これまでの総合都市交通体系調査の概要の修正 ・今回調査の計画課の追加 ・熊本都市圏交通の将来像の検討内容の確認 ・熊本都市圏総合都市交通体系調査の手順の確定 ・調査対象エリアの確定（対象自治体、ゾーニング） ・目標サンプル数及び調査方法の確定 ・予測モデルの確定 ・本体調査の1年延期の確定	<b>【審議事項】</b> (1) 第2回委員会での意見及び対応方針について (2) パーソントリップ調査について <b>【①熊本PT調査方針について ②熊本都市圏交通実態調査(案) ③今後のスケジュール】</b>  ・熊本都市圏交通の将来像(仮設定案) ・検討したい施策の評価イメージの確認 ・調査内容の確認（調査票案、付帯調査案、補完調査案（コードライン調査案、着地調査案、スクリーンライン調査案） ・回収率向上策案の確認 ・PRや関係者の意見聴取案の確認 ・予測モデルの事前検討を実施することの確認	<b>【審議事項】</b> (1) 第2回幹事会での意見及び対応方針について (2) パーソントリップ調査について <b>【①熊本都市圏交通実態調査(案) ②今後のスケジュール】</b>  ・熊本都市圏交通の将来像(仮設定修正案) ・検討したい施策の評価イメージの修正案確認 ・調査内容修正案確認（調査票案、付帯調査案、補完調査案（コードライン調査案：調査票案の提示、着地調査案、スクリーンライン調査案） ・WEB調査票（例示、WEB調査票への誘導、併用回答の許容） ・各種調査マニュアルの確認 ・広報戦略の確認	<b>【審議事項】</b> (1) これまでの協議会について (2) 実態調査について <b>①本体調査 ②付帯調査 ③補完調査 ④回収率向上方策</b>  (3) 将来像の仮設定及び調査内容の整理 (4) 今後のスケジュール

## 2 実態調査について

### 実態調査

#### ■ 本体調査

⇒ 誰が、いつ、どこに、何の目的で、どのような交通手段で移動したかについて把握するために実施

#### ■ 付帯調査

⇒ 各々の都市圏の計画課題にあわせて、必要な調査を実施

#### ■ 補完調査

⇒ 本体調査を補完する目的で、道路断面の交通量や空港・駅の乗降客数および移動の実態を把握するために調査を実施



# 都市交通マスタープランの作成

# **(1) 本体調査**

# (1) 本体調査

## 本体調査

- 2種類の調査票を準備      ① 世帯票      ② 個人票

## 調査項目

《当初作成案》（第2回幹事会）

- 他都市（H30東京、H30広島）を参考に前回（H24）を更新して設定
- 近年の調査項目及び有識者会議意見を参考に、下記を対応

- 【A】オープンデータ化を前提とした注意書き(世帯・個人)      【B】代理回答者を把握(個人)
- 【C】外出しない方の活動(潜在的なトリップ)を把握(個人)      【D】調査内容を統合(世帯)
- 【E】職種を統合(世帯)      【F】選択肢を統合(世帯)      【G】選択肢を細分して設定(個人)
- 【H】選択肢を追加、細分して設定(個人)

- 第3回幹事会でのご意見を踏まえた更新・修正

- 【①】住所記入欄の修正（世帯・個人）      【②】就業形態の追加（世帯）

※R3全国PT調査票を参考

▼  
調査票を作成

# (1) 本体調査

世帯票の選択肢（前回：H24及び他都市との比較） 第3回幹事会資料からの抜粋

## ●近年の調査項目を参考に、職種を統合、就業形態を追加

### ① 職業

	今回熊本PT (R5)		前回熊本PT (H24)		東京PT (H30)		広島PT (H30)		
	就業形態・状況	職業	就業形態・状況	職業	就業形態・状況	職業	就業形態・状況	職業	
職業をお持ちの方		農業・林業・漁業 (第一次産業従事者)		農林漁業、畜産、育林(林産物生産等含む)		農業・林業・漁業 (第一次産業従事者)		農業・林業・漁業 (第一次産業従事者)	
		鉱業・建設業・製造業 (第二次産業従事者)		鉱業、採石業、砂利採取業(金属鉱業、鉱物鉱業等含む) 建設業(土木、建築、設備工業等含む) 製造業(食料品製造、電子製品製造、工業製品製造等)		鉱業・建設業・製造業 (第二次産業従事者)		鉱業・建設業・製造業 (第二次産業従事者)	
		上記以外 (第三次産業従事者)		電気、ガス、熱供給、水道業(上下水道業) 情報通信業(放送業、インターネット付随サービス等) 運輸業、宅配(旅客運送、貨物運送、倉庫業等) 卸売業、小売業(各種商品の卸売・小売等) 金融業、保険業(銀行、金融商品取引、保険サービス等) 不動産業、物品賃貸業(不動産取引、不動産管理等) 学術研究、専門・技術サービス業(法律事務所、会計士、広告業等) 宿泊業、飲食サービス業(ホテル、飲食店、配達サービス等) 生活関連サービス業、娯楽業(理容、美容、スポーツ施設提供等) 教育、学習支援業(学校教育、学習塾、社会教育施設等) 医療、福祉(病院、保健衛生、社会保険事業等) 複合サービス事業(郵便局、農協、協同組合等) サービス業(他に分類されないもの) (自動車修理、職業紹介、政治団体、廃棄物処理事業等) 公務(国家公務員、地方公務員)		上記以外 (第三次産業従事者)		上記以外 (第三次産業従事者)	
		自営業主・家族従事者				自営業主・家族従事者		自営業主・家族従事者	
		正規の職員・従業員				正規の職員・従業員		正規の職員・従業員	
		派遣社員・契約社員等				派遣社員・契約社員等		派遣社員・契約社員等	
		パート・アルバイト				パート・アルバイト		パート・アルバイト	
		会社等の役員				会社等の役員		会社等の役員	
		その他(欄に具体的に記入)		その他(欄に具体的に記入)		その他		その他	
	職業をお持ちでない方		園児・小学生・中学生		園児・小学生・中学生		園児・生徒・学生など		園児・生徒・学生など
			高校生		高校生				
			大学生・短大生・各種専門学校生		大学生・短大生・各種専門学校生				
			主婦・主夫(職業従事者を除く)		主婦・主夫(職業従事者を除く)		専業主婦・主夫		専業主婦・主夫
			無職		無職		無職		無職・休職中・その他
					その他(欄に具体的に記入)				

# (1) 本体調査

## ①世帯票 案(A3横片面)

【①】住所記入欄の修正

【②】就業形態の追加

【A】オープンデータの整備が前提であることを回答者へ説明

秘 熊本市圏パーソントリップ調査  
**世帯票**  
(調査実施機関 熊本市圏総合交通計画協議会)

■ 記入についてお願い  
 ・記入は黒の筆記具で、世帯の代表者(世帯主)の方をお願いします。  
 ・回答は、の部分(回答欄)に記入してください。  
 ・回答欄に番号などが付いている場合は、該当する番号などを○で囲んでください。  
 ・回答欄にが付いている場合は、表1・表2から該当する数字を選んで記入してください。

この調査は、将来のまちづくりや交通計画などを検討するための基礎資料を得ることを目的としており、集計した調査票の内容は、個人情報の取扱いに細心の注意を払ったうえで、活用させていただきます。

整理番号(記入は不要です)

<input type="text"/>									
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

**問1** あなたの世帯の現住所(自宅)について、お答えください。 ※マンション・アパート等集合住宅の名称・部屋番号までは不要です。

市町村	丁目	番	号	※番地・号までご記入ください。 例) ○○市○○1丁目-1番-1号
区	町字	番地	号	

**問2** 現在同居されている方 全員 について、お答えください。 ※いちばん左の欄に記載されている(何人目)かは、個人票の「問1」に記入する番号になります。

【F】選択肢を統合

世帯構成人員	ア.性別	イ.年齢 令和5年 ●月●日 時点	ウ.職業 表1から選択	エ.就業形態 表2から選択	オ.勤務先・通学先・通園先 「勤務先・通学先・通園先の所在地」と「現住所」が同じ場合は回答欄に『現住所と同じ』と記載していただいても結構です。	カ.自動車運転 免許保有の 状況	キ.普段使える自動車の有無 オ.で「1持っている」に ○をつけた人のみ(複数回答可)
記入例	① 男 2 女	59 歳	[ 3 ]	[ 2 ]	勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 ○○○株式会社 熊本市 市町村 中央区 手取本 丁目 6 番 34 号	① 持っている 2 持っていない 3 返納した	① ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録 4 ない
1人目 世帯主	1 男 2 女	歳	[ ]	[ ]	勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 丁目 番 号 区 町字 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない
2人目	1 男 2 女	歳	[ ]	[ ]	勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 丁目 番 号 区 町字 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない
3人目	1 男 2 女	歳	[ ]	[ ]	勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 丁目 番 号 区 町字 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない
4人目	1 男 2 女	歳	[ ]	[ ]	勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 丁目 番 号 区 町字 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない
5人目	1 男 2 女	歳	[ ]	[ ]	勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 丁目 番 号 区 町字 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録 4 ない
6人目	1 男 2 女	歳	[ ]	[ ]	勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 丁目 番 号 区 町字 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない

【D】調査内容を統合

【②】就業形態の追加

**問3** 世帯で保有している自動車や二輪車の台数をお答えください。

自動車	台	原付・バイク	台
自転車	台	シニアカー	台

※お持ちでない方は、0台とご記入ください。

**問4** 差支えなければ世帯の1年間の収入(年収)をお答えください。

1 200万未満	6 1,000~1,199万円
2 200~399万円	7 1,200~1,499万円
3 400~599万円	8 1,500万円以上
4 600~799万円	9 答えたくない・わからない
5 800~999万円	

**表1 職業**

■ 職業をお持ちの方  
(パート・アルバイトを含む、学生は除く)

1. 農業・林業・漁業(第一次産業従事者)
2. 鉱業・建設業・製造業(第二次産業従事者)
3. 上記以外(第三次産業従事者など)

**表2 就業形態**

■ 職業をお持ちの方  
※産休・休職等も含む

1. 自営業主・家族従業者
2. 正規の職員・従業員
3. 派遣社員・契約社員等
4. パート・アルバイト
5. 会社等の役員
6. その他(欄に具体的に記入)

■ 職業をお持ちでない方

7. 園児・小学生・中学生
8. 高校生
9. 大学生・短大生
10. 主婦・主夫
11. 無職

【E】職種を統合

ご不明な点は調査実施本部までお問い合わせください(フリーダイヤル: 0120-XX-XXX 受付時間: 午前X時~午後X時、日・祝日を除く)

# (1) 本体調査

## ②個人票 案(A3縦両面)

【B】代理回答者を把握

【A】オープンデータの整備が前提であることを回答者へ説明

【C】外出しない方の活動(潜在的なトリップ)を把握

熊本市圏パーソナルトリップ調査  
**個人票**  
(調査実施機関 熊本市圏総合交通計画協議会)

記入についてお願い  
・記入は黒の筆記具で、世帯票にご記入の方のうち、5歳以上の一人ひとりについて記入してください。  
・回答は、の部分(回答欄)に記入してください。  
・回答欄に番号などが付いている場合は、該当する番号などを○で囲んでください。  
・回答欄に□がついている場合は、表1又は表2から該当する数字を選んで記入してください。

整理番号(記入は不要です)  
この調査は、将来のまちづくりや交通計画などを検討するための基礎資料を得ることを目的としており、集計した調査票の内容は、個人情報取得の取扱いに厳心の注意を払ったうえで、活用させていただきます。

問1 はじめにお答えください。  
7. 調査日 ※1 調査のご別記に記載の調査日を入力  
8. 代理の方が記入される場合、世帯票の何人目に該当されますか。  
9. 調査日の外出の有無 ※2 職業をお持ちの方のみお答えください。  
10. はじめにいた場所  
11. 調査日のあなたの移動を一つづつ順番に記入してください。

7. 目的地  
8. 出発時刻  
9. 到着時刻  
I. 交通手段  
II. 移動目的

7. 目的地  
8. 出発時刻  
9. 到着時刻  
I. 交通手段  
II. 移動目的

7. 目的地  
8. 出発時刻  
9. 到着時刻  
I. 交通手段  
II. 移動目的

表1 移動目的  
1. 通勤・通学  
2. 通学先へ(帰校を含む)  
3. 私用  
4. 日用品の買物へ  
5. 食事・社交・娯楽へ  
6. 通院へ  
7. デイサービスへ  
8. 他者の送り迎え  
9. 他者の用事付き添い  
10. 塾・習い事へ  
11. 観光・行楽・レジャーへ  
12. 散歩・ジョギング・運動へ  
13. 地域活動・ボランティアへ  
14. その他の私用へ

表2 交通手段  
1. 徒歩(車いす・シニアカー含む)  
2. 自転車(個人所有)  
3. レンタルサイクル・シェアサイクル  
4. 原動機付自転車(50cc以下)  
5. 自動二輪車(50ccを越える)  
6. タクシー・ハイヤー  
7. レンタカー・カーシェアリング  
8. 乗用車・軽乗用車  
9. 貨物自動車・軽貨物車(ライトバンを含む)  
10. 自家用バス・貸切バス(送迎バスを含む)  
11. 路線バス・コミュニティバス  
12. 乗合タクシー  
13. 高速バス・都市間バス  
14. JR新幹線  
15. JR在来線  
16. 熊本電鉄(鉄道)  
17. 市電(路面電車)  
18. 船舶  
19. 航空機  
20. その他

【①】住所記入欄の修正

【G】選択肢を細分して設定

【H】選択肢を追加、細分して設定

翌日午前3時までには帰宅した人は、自宅に帰るまでの移動も記入してください。 ▶▶ うら面へ

(表面)

(裏面)

7. 目的地  
8. 出発時刻  
9. 到着時刻  
I. 交通手段  
II. 移動目的

表1 移動目的  
表2 交通手段

翌日午前3時までには帰宅した人は、自宅に帰るまでの移動も記入してください。

## **(2) 付帯調査**

## (2) 付帯調査

### 付帯調査

#### ■ 対象自治体における調査ニーズの把握

⇒ 都市圏として対応できる内容や規模について精査  
(自治体アンケート調査の回答結果を反映)

#### ■ 既存アンケート調査の把握

⇒ 他の調査で収集状況、利活用可能データの有無等を精査

#### ■ 付帯調査内容の決定

⇒ 本体調査では把握できない「普段の生活などに関する調査」  
(拠点周辺の移動実態や必要な移動支援サービスなどに関する調査)



### 付帯調査票の設計

# (2) 付帯調査

## ■ 自治体アンケート結果と付帯調査への反映に関する整理

市町村	問題点・課題	想定するアウトプット	実現化のための課題	対応	PT調査結果の活用イメージ
菊池市	熊本市近郊のベッドタウンの性格から泗水地区は人口が微増傾向にあるとされているが、現実としてどれ位そついった属性の層がいるのか把握しきれていない	・菊池市(泗水エリア)からどのような属性の人が、何人、日常の中で、何の目的(通勤通学、買い物、通院等)で熊本市、合志市方面へ移動しているのか。		本体調査 付帯調査	・付帯調査(問1)で交通手段や具体施設の把握に活用
宇土市	・市営駐車場の利用率	・公共交通機関を利用する人たちの市営駐車場の認識、及び利用率の増加	・周知方法の検討	付帯調査	・付帯調査(問2)で現時点のモバイル端末利用状況を把握し、周知活動方針の検討等に活用
宇城市	・地域公共交通利用者減少 ・地域公共交通の維持、確保	・路線バスの見直し、再編 ・乗合タクシーの見直し、導入	・利用実態の把握	本体調査 付帯調査	・付帯調査(問1)で交通手段や具体施設の把握に活用 ・付帯調査(問4)で乗合タクシーの要望箇所を収集し、導入や見直し検討時に活用
御船町	■ 地域公共交通空白地域の存在	■ 交通結節部の整備による地域公共交通ネットワークの強化 ・役場周辺への交通結節点の整備	■ 交通結節部の整備による地域公共交通ネットワークの強化 ・交通結節点となる場所の確保及び予算	本体調査 付帯調査	・付帯調査(問1)で交通手段や具体施設の把握に活用 ・付帯調査(問4)で移動支援サービスの要望箇所を収集し、運行計画の見直し検討時に活用
	■ 高齢者の外出機会の喪失 ■ 自家用車への依存により発生する町内移動の制約 ■ 自家用車に偏った来訪による駐車場不足への懸念	■ 町内路線の再編 ・コミュニティバスの運行見直し ・予約型乗合タクシーの導入検討	■ 町内路線の再編 ・地域のニーズに沿った路線の検討	付帯調査	
	■ 地域公共交通に対する関心の低さ ■ 各種移動サービスの重複・連携不足	■ 地域公共交通に関する情報発信 ・地域公共交通情報案内の作成・配布	■ 地域公共交通に関する情報発信 ・老若男女に対する情報の発信方法	付帯調査	
	公共交通機関の充足度 (タクシー以外のサービスが及ばない地域の存在)	・コミュニティ交通等の導入	・費用	付帯調査	
益城町	公共交通の利用促進(主に路線バス)	・路線バスを利用する理由/利用しない理由(年代別:高齢者、若年層等) ・公共交通サービスに対する満足度 ・運行路線等に対する認知度	・路線バス等において複数市町村を運行する路線については、市町村単独では路線全体の利用者の意向の確認が難しい。	本体調査 付帯調査	・付帯調査(問4)で移動支援サービスの要望箇所を収集し、運行計画の見直し検討等に活用
熊本県 交通 政策課	空港へのアクセス改善 (コロナ後の旅行(移動)形態の把握)	・コロナ後の人々の移動目的、回数、公共交通機関の利用回数等 ① 生活様式・業務様式の変化 (例:コロナ中:Web会議→コロナ後:出張(鉄道)) ② 利用交通機関の変化 (例:コロナ中:自動車→コロナ後:バス)	・PT調査データを元に需要予測モデルを構築し、需要予測を行っていくが、 <u>コロナ禍のPT調査になるため、外出回数の減少、公共交通機関の利用回数が減少した結果となり、公共交通機関の需要予測の過少評価に繋がることが懸念される。</u>	本体調査 付帯調査 補完調査	・付帯調査(問3)でコロナの発生前後の生活様式の変化状況を把握し、需要予測の補正等に活用

## (2) 付帯調査

### ● 普段の生活に関する調査（調査の概要）

調査の目的	対象者	問の番号	把握項目	設問項目	分析の方向性・視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 普段の生活における拠点等の利用実態を分析し拠点・結節点整備、移動支援策を検討</li> <li>● モバイル端末の活用状況等の分析による今後のサービスの検討</li> <li>● コロナ前と比較しての外出動向と外出しない理由の分析</li> <li>● 外出を阻む理由を踏まえた必要な支援サービスの検討</li> </ul>	熊本都市圏 居住者に対し 一律配布 ※高校生以上 (16歳以上)	1	私事活動の実態 【菊池市】 【宇城市】 【御船町】	① 私事活動の種類別における実施頻度・主な目的地・交通手段 【実態・選択式(一部記載)】	・各自治体で整備を進めている拠点・交通結節点に関して、(本調査では把握が難しい) 休日・普段の行動における利用実態(拠点利用の有無・利用する交通手段)を把握し、拠点や結節点の整備及びそこへの移動などの円滑化を検討。
		2	モバイル端末の利用状況 【宇土市】 【御船町】	① モバイル端末所有状況 【実態・選択式】 ② その種類 【実態・選択式】 ③ モバイル端末でしていること 【実態・選択式】	・ターゲット層(SNSを利用している層、交通決裁にモバイル端末を利用している層など)や、そのボリュームを把握したうえで、今後ネットを活用した交通施策(周知施策・MaaSアプリなど)に関して検討。
		3	外出頻度・理由 【熊本県交通規制課】	① 外出頻度の増減と外出しない理由 【実態・選択式】	・実際の外出頻度の増減を5年前(コロナ前)と比較するとともに、減った場合の理由を分析。
		4	外出にあたっての課題・必要な支援サービス 【宇城市】 【御船町】 【嘉島町】 【益城町】	① 外出における困りごと 【実態・選択式】 ② その内容 ③ 外出のために必要な移動支援サービス 【意向・選択式】	・ターゲットとする層(○を使えば移動が増えるとの回答が多い層)やその場所・ボリュームを把握したうえで、今後外出やトリップを増加させるために必要な移動支援サービスの検討(社会実験・本格導入)に活用。
		5	熊本都市圏の交通に関する意見	自由回答	・熊本都市圏の交通にかかわる課題や問題点等を類型化して整理し、施策検討に活用。

# (2) 付帯調査

## 付帯調査 案(A3横片面)

認知されている表現の採用

調査の目的・オープンデータの整備が前提であることを回答者へ説明

**秘 熊本都市圏パーソナリティ調査**  
**普段の生活などに関する調査**  
(調査実施機関：熊本都市圏総合交通計画協議会)

■この調査は“世帯票・個人票”と併せて、普段の生活などに関することをお聞きし、将来の都市交通に関する方針や施策などを検討するための基礎資料を得ることを目的としています。集計した調査票の内容は、個人情報の取り扱いに細心の注意を払ったうえで、活用させていただきます。

■記入についてのお願い  
 ・この調査は、16歳以上の方がお答えください。  
 ・右の個人番号欄にあなたが「世帯票」で何人目(何人目)に該当するかご記入ください。  
 ・回答は 〇の部分(回答欄)に記入・記載してください。(記入例：月に 2 日)  
 ・回答欄に番号などがついている場合は、該当する番号などを〇で囲んでください。(記入例：①)

個人番号  
 (世帯票の何人目に該当しますか。)  
 [ 〇 ] 人目

**問1 あなたの最近(概ね直近1ヶ月)の私事活動の状況についてお伺いします。**

私事活動種類	最近の実施頻度 <small>※実施していない場合は「0」日と記入してください。</small>	その私事活動で外出する際の主な目的地(各2つまで記載可) <small>※よく訪れる場所をできるだけ具体的にお答えください 【例：スーパー ●● 熊本東店、熊本城ホール、健康駅近くの病院 など】</small>	外出時の主な交通手段 (【選択肢1】 から1つ選択) <small>※「10.その他」を選択された場合は具体的にご記入ください。</small>
買物	月に 〇 日	名称① [ 〇 ] 名称② [ 〇 ]	①の交通手段 [ 〇 ] (具体的に: 〇 ) ②の交通手段 [ 〇 ] (具体的に: 〇 )
通院	月に 〇 日	名称① [ 〇 ] 名称② [ 〇 ]	①の交通手段 [ 〇 ] (具体的に: 〇 ) ②の交通手段 [ 〇 ] (具体的に: 〇 )
外食	月に 〇 日	名称① [ 〇 ] 名称② [ 〇 ]	①の交通手段 [ 〇 ] (具体的に: 〇 ) ②の交通手段 [ 〇 ] (具体的に: 〇 )

- 【選択肢1】**
- 1.自動車 (自分で運転)
  - 2.自動車 (他の人が運転)
  - 3.バス
  - 4.徒歩
  - 5.自転車
  - 6.バイク
  - 7.市電 (路面電車)
  - 8.鉄道 (JR、電鉄)
  - 9.タクシー
  - 10.その他

**問2 あなたのモバイル端末の利用状況についてお伺いします。**

- ① モバイル端末 (例：携帯電話、スマートフォン、タブレットなど) の所有状況についてお答えください。(1つ選択)
1. 持っている ⇒ ②へ 2. 持っていない ⇒ 問3へ
- ② 主に使用するモバイル端末をお答えください。(1つ選択)
1. スマートフォン 2. 携帯電話 (いわゆる“ガラケー”)  
 3. スマートウォッチ 4. タブレット端末  
 5. モバイルパソコン 6. その他 (具体的に: 〇 )
- ③ モバイル端末で行うことをお答えください。(複数回答可)
1. 通話・メール  
 2. WEB サイト閲覧・動画視聴  
 3. 決済 (買物)  
 4. 決済 (公共交通支払い)  
 5. SNS (情報入手)  
 6. SNS (情報発信)  
 7. その他 (具体的に: 〇 )

**問3 ここ一ヶ月のあなたの外出頻度などについてお伺いします。**

- ① およそ5年前と比べた外出頻度 (増減) をお答えください。また、5年前と比べ外出頻度が「減った」方は、その理由についてもお答えください。(平日・休日のそれぞれでお答えください。) ※外出については、通勤・通学によるものも含めてください。
- 【平日】**
- ・外出頻度 :5年前と比べて (1つ選択)  
 ⇒ 【1.減った 2.変わらない 3.増えた】
  - ・現在、週に約【 〇 】日外出している (数値を記載)
  - ・外出頻度が「減った」方 (主なものを上位3つまで記載)  
 ⇒その理由 (【選択肢2】から記載) 【 〇 】  
 ※9.その他を選んだ方【具体的に: 〇 】
- 【休日】**
- ・外出頻度 :5年前と比べて (1つ選択)  
 ⇒ 【1.減った 2.変わらない 3.増えた】
  - ・現在、週に約【 〇 】日外出している (数値を記載)
  - ・外出頻度が「減った」方 (主なものを上位3つまで記載)  
 ⇒その理由 (【選択肢2】から記載) 【 〇 】  
 ※9.その他を選んだ方【具体的に: 〇 】
- 【選択肢2】 ※外出が「減った」方のみ回答**
- 1.インターネットで生活が完結するから
  - 2.コロナの影響で外出を控えているから
  - 3.屋内で活動 (読書・ゲーム等) したいから
  - 4.外出する移動手段がないから
  - 5.外出する暇がないから・面倒だから
  - 6.以前に比べ体力が落ちたから
  - 7.お金を浪費したくないから
  - 8.免許を返納したから
  - 9.その他

困っていない人からも必要なサービスを把握

自由意見の回答欄を追加で準備

**問4 外出にあたって公共交通を利用する際の困りごとなどについてお尋ねします。**

- ① 公共交通を利用する際の困りごとの有無を教えてください。(1つ選択)
1. 困りごとがある ⇒ ②へ 2. 困りごとはない ⇒ ③へ
- ② お困りの内容を教えてください。(主なものを上位3つまで選択)
1. 運転できない・運転を頼める人がいない  
 2. 近くにバス停や駅がない  
 3. 公共交通の運行本数が少ない・目的地までの便がない  
 4. 公共交通が時刻表通りにこない  
 5. 公共交通の料金が高い  
 6. 乗換えが面倒  
 7. その他【具体的に: 〇 】

- ③ 今後 身近にあったら良い・魅力的な移動支援のサービスを教えてください。(主なものを上位3つまで選択)
1. 一定の料金をバス・電車が乗り放題になる制度 (サブスクリプション・サービス<sup>※1</sup>)  
 2. 大型のタクシーなどが安い相乗り料金で地域の中をまわるサービス  
 3. 足腰の弱い人や車いすの人などを自動車で目的地まで運び用務を手伝うサービス  
 4. 補助的な交通手段 (電動カート・シェアサイクルなど) を貸し出すサービス  
 5. スマートフォンのアプリ1つで目的地までの検索や決済ができるサービス  
 6. 近くに交通機能が集約された施設<sup>※2</sup> などが整備される  
 7. その他【具体的に: 〇 】
- ※1 サブスクリプション・サービス：定期的に料金を支払い利用するコンテンツやサービス  
 ※2 様々な交通モード (カーシェアリング、シェアサイクルなど) の貸し出し・接続・乗換拠点

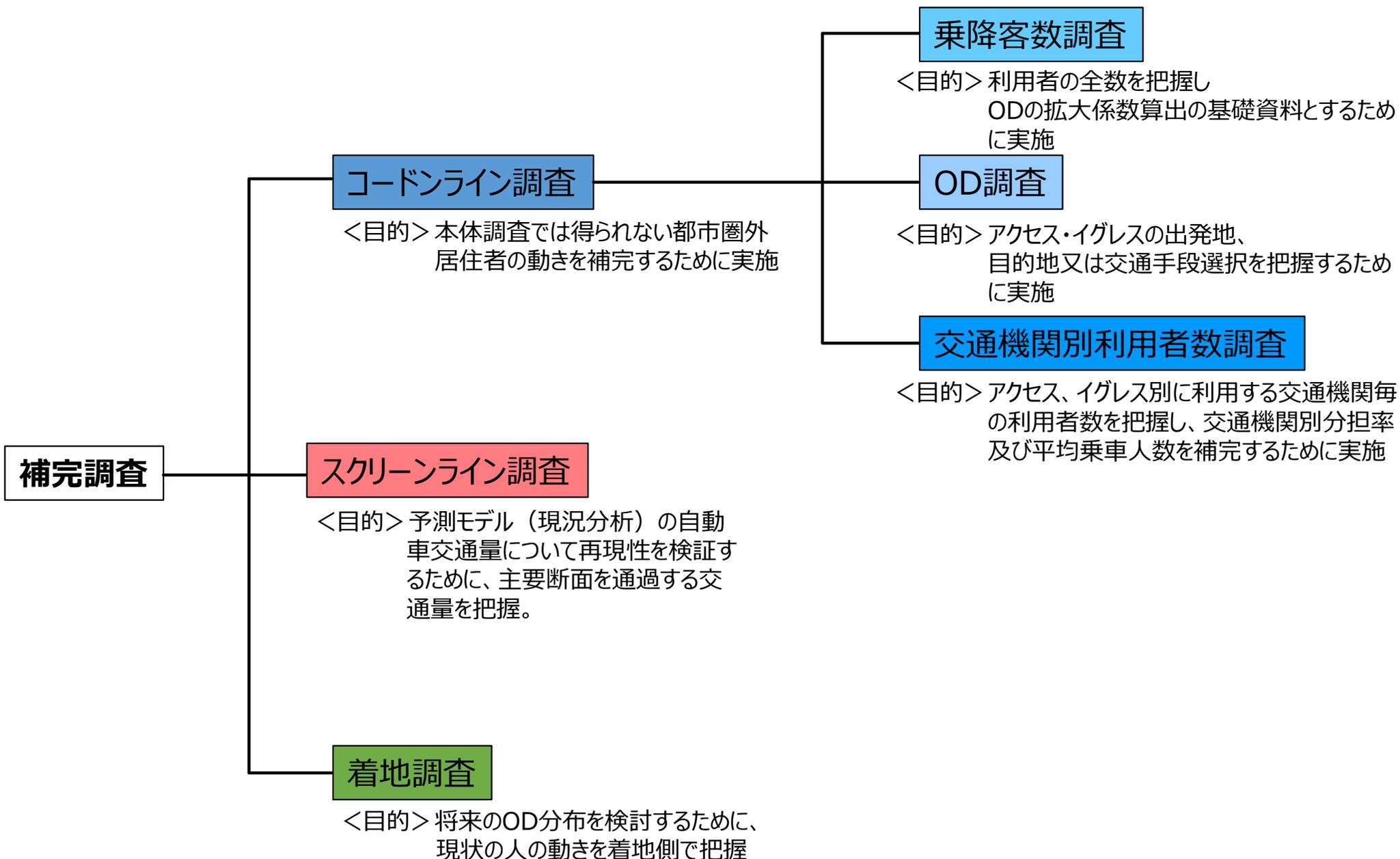
**問5 最後に、熊本都市圏の交通について、理想の姿や要望などのご意見をご自由にお書きください。(自由記述)**

調査実施本部の連絡先を記載

## **(3) 補完調査**

# (3) 補完調査

●補完調査は、下記に示す体系で調査を実施。



# (3) 補完調査（コードンライン調査）

## コードンライン調査

- パーソントリップ調査では把握することのできない都市圏外からの来訪者トリップ等を阿蘇くまもと空港、及びJR熊本駅で捉えることが目的。
- 都市圏境界（コードン）における出入り交通量を把握し、調査結果との対比、補足状況を検証。

ターミナル	年度	乗降客数調査	OD調査		交通機関別利用者数調査	R5年度調査の方向性
			乗車	降車		
阿蘇くまもと空港	H24	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24調査と同様に、交通機関別利用者数調査、乗降客数調査およびOD調査を実施</li> <li>※R3年度航空旅客動態調査の結果も活用(OD・手段・目的)</li> </ul>
	R5	○	○	○	○	
JR熊本駅	H24	○	○	○	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24調査と同様に、乗降客数調査、OD調査を実施</li> <li>・交通機関別利用者数調査は、熊本駅への利用交通機関が多岐に渡り、網羅的な調査が困難なため、R5年度は、調査を実施しない（OD調査結果を活用）。</li> </ul>
	R5	○	○	○	—	
熊本港	H24	○	○	○	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗降人員が少なく(R1:77.2万人/年, R2:40.8万人/年)、都市圏交通に与える影響が少ないことが想定される</li> <li>・R5年度は、調査を実施しない。</li> </ul>
	R5	—	—	—	—	
熊本桜町バスターミナル・通町筋	H24	○	○	○	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜町バスターミナル・通町筋のほか、熊本駅、水前寺、益城空港ICバス停など乗降客が分散しており、全体把握が困難であるとともに、ICデータ活用による補完対応が可能と想定される</li> <li>・R5年度は、調査を実施しない。</li> </ul>
	R5	—	—	—	—	

▲H24PT コードンライン調査実施状況とR5調査の方向性

# (3) 補完調査（コードンライン調査）

●コードンライン調査は下表に示す調査内容で実施。

項目	乗降客数調査	OD調査	交通機関別利用者数調査
調査予定時期 (全調査同日に実施)	令和5年10月中旬(平日)	令和5年10月中旬(平日)	令和5年10月中旬(平日)
調査箇所	①熊本駅(新幹線口1箇所、在来線口1箇所、新幹線⇔在来線改札1箇所) ②阿蘇くまもと空港(国内線出発口1箇所、国内線到着口1箇所)	①熊本駅(新幹線口1箇所、在来線口1箇所、新幹線⇔在来線改札1箇所) ②阿蘇くまもと空港(国内線出発口1箇所、国内線到着口1箇所)	①阿蘇くまもと空港(単路部1箇所、駐車場出口3箇所) ②阿蘇くまもと空港(各乗降場6箇所)
調査時間帯	①4:30~24:30(20時間) ②5:30~22:30(17時間)	①4:30~24:30(20時間) ②5:30~22:30(17時間)	①・②5:30~22:30(17時間)
調査方法	<計測分類>乗車、降車別人数 <観測方法> ・人手観測	<調査方法>現地ヒアリング調査 アンケート調査(ハガキ) アンケート調査(WEB)	<計測分類>①5車種分類、②交通機関別乗車、降車別人数 <観測方法> ・人手観測 ・(阿蘇くまもと空港の駐車場出入口)協議により、駐車場出入台数のデータが時間毎に入手可能であればデータを活用



# (3) 補完調査 (コードンライン調査 交通機関別利用者数調査)

●コードンライン調査の交通機関別利用者数調査は、阿蘇くまもと空港のアクセス、イグレス別に交通機関毎の利用者数を計測。

## 交通機関別利用者数調査



出典：阿蘇くまもと空港ホームページ 空港マップ



出典：阿蘇くまもと空港ホームページ 空港マップ

# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

## ■ OD調査

調査の目的	対象者	調査箇所	区分	設問項目	備考
広域交通結節点を利用する域外居住者のODを把握	阿蘇くまもと空港、又はJR熊本駅を利用する域外居住者に対して一律配布(5歳以上)	【阿蘇くまもと空港】	乗客用	・最初の出発地	・記入方式
				・その前の出発地 ・目的 ・利用交通手段	・記入方式、選択肢方式
				・飛行機の行き先空港	・記入方式
				・阿蘇くまもと空港までの交通事情(意見・要望等)	・自由記述方式
			降客用	・飛行機に乗った空港	・記入方式
				・はじめの行き先地 ・目的 ・利用交通手段	・記入方式、選択肢方式
				・最後の行き先地	・記入方式
				・阿蘇くまもと空港からの交通事情(意見・要望等)	・自由記述方式
		【JR熊本駅】	乗客用※	・最初の出発地	・記入方式
				・その前の出発地 ・目的 ・利用交通手段	・記入方式、選択肢方式
				・電車を降りた駅	・記入方式
				・熊本駅までの交通事情(意見・要望等)	・自由記述方式
降客用	・最初に電車に乗った駅		・記入方式		
	・はじめの行き先地 ・目的 ・利用交通手段		・記入方式、選択肢方式		
	・最後の行き先地		・記入方式		
	・熊本駅からの交通事情(意見・要望等)		・自由記述方式		

※JR熊本駅在来線の乗客用OD調査では、ヒアリング調査のみを実施し、アンケートハガキ調査は実施しない。  
(在来線利用者は通勤・通学等で往復利用することが想定されるため、降客用のみで調査を実施)

# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

## ヒアリング調査票 案 (阿蘇くまもと空港 乗客用)

### 阿蘇くまもと空港ヒアリング調査票 (乗客用)

#### 1. あなたのことについてお聞きします。

(1) あなたの住所は？

都道 府県	市区 町村	丁目 番
----------	----------	---------

(2) あなたの性別は？

1. 男	2. 女
------	------

(3) あなたの年齢は？

1, 10代未満	2, 10代	3, 20代	4, 30代	5, 40代	6, 50代	7, 60代	8, 70代	9, 80代以上
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------

(3) あなたの職業は？

1, 有職者	2, 学生・生徒	3, 主婦・主夫・無職・その他
--------	----------	-----------------

#### 2. あなたの空港までの一日の動きをお聞かせください。

■ 飛行機の行き先は

1, 東京	2, 伊丹	3, 神戸	4, 名古屋(中部)	5, 名古屋(小牧)	6, 沖縄	7, 天草
-------	-------	-------	------------	------------	-------	-------

■ ひとつ前の出発地

所要時間	分
------	---

目的の種類

1, 通勤	2, 通学	3, 業務	4, 私用	5, 観光	6, 帰社	7, 帰宅	8, その他
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

交通手段の種類

1, 徒歩	6, タクシー・ハイヤー	11, 送迎バス	17, 熊本電鉄
2, 自転車	7, 乗車用	12, 路線バス	18, 市電
3, 原動機付き自転車 (50cc以下)	8, 軽乗用車	13, 高速バス・都市間バス	19, 船舶
4, 自動二輪 (50ccを超える)	9, 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	14, 空港ライナー	20, 航空機
5, レンタカー	10, 自家用バス・貸切バス	15, JR新幹線	21, その他
	16, JR在来線		

■ その前の出発地

所要時間	分
------	---

目的の種類

1, 通勤	2, 通学	3, 業務	4, 私用	5, 観光	6, 帰社	7, 帰宅	8, その他
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

交通手段の種類

1, 徒歩	6, タクシー・ハイヤー	11, 送迎バス	17, 熊本電鉄
2, 自転車	7, 乗車用	12, 路線バス	18, 市電
3, 原動機付き自転車 (50cc以下)	8, 軽乗用車	13, 高速バス・都市間バス	19, 船舶
4, 自動二輪 (50ccを超える)	9, 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	14, 空港ライナー	20, 航空機
5, レンタカー	10, 自家用バス・貸切バス	15, JR新幹線	21, その他
	16, JR在来線		

#### 3. 空港までの交通手段の選択理由をお聞かせください。

①所要時間が短い	④時間が正確である	⑦自動車が利用できない
②経済的である	⑤安全である	⑧公共交通が利用できない
③快適である	⑥荷物がある	
⑨その他(具体的に)		)

#### 4. 空港までの交通手段の満足度についてお聞かせください。

①満足	②やや満足	③どちらともいえない	④やや不満	⑤不満
-----	-------	------------	-------	-----

#### 5. 空港までのアクセスについて問題点を聞かせてください。

①空港までの道路が渋滞している	⑤空港バスの運賃が高い
②駐車料金が安い	⑥空港バスの本数が少ない
③空港までの鉄道がない	⑦空港バスの車内が快適でない
④自動車に比べ空港バスの所要時間が長い	⑧その他(具体的に)

#### 6. 阿蘇くまもと空港と福岡空港の利用状況についてお聞かせください。

(1) 阿蘇くまもと空港の利用頻度をお聞かせください。

①週1回程度	②月に1回程度	③半年に1回程度	④年に1回程度	⑤その他
--------	---------	----------	---------	------

(2) 福岡空港の利用頻度をお聞かせください。

①週1回程度	②月に1回程度	③半年に1回程度	④年に1回程度	⑤ほとんど利用しない
--------	---------	----------	---------	------------

(3) 福岡空港を利用する方(①、②、③、④)にお尋ねします。福岡空港を利用する理由をお聞かせください。

①目的地までの飛行機の便数が福岡空港のほうが多い
②目的地までの飛行機が阿蘇くまもと空港にない
③目的地までの料金が福岡空港利用のほうが安い
④阿蘇くまもと空港より福岡空港までの所要時間が短い
⑤阿蘇くまもと空港より福岡空港までの公共交通の運行本数が多い
⑥阿蘇くまもと空港より福岡空港までの運賃が安い
⑦その他(具体的に)

# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

## ヒアリング調査票 案 (阿蘇くまもと空港 降客用)

### 阿蘇くまもと空港ヒアリング調査票 (降客用)

#### 1. あなたのことについてお聞きします。

(1) あなたの住所は？

都道 府県	市区 町村	丁目 番
----------	----------	---------

(2) あなたの性別は？

1. 男	2. 女
------	------

(3) あなたの年齢は？

1. 10代未満	2. 10代	3. 20代	4. 30代	5. 40代	6. 50代	7. 60代	8. 70代	9. 80代以上
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------

(4) あなたの職業は？

1. 有職者	2. 学生・生徒	3. 主婦・主夫・無職・その他
--------	----------	-----------------

#### 2. あなたの空港からの一日の動きをお聞かせください。

■ 飛行機の出発地は

1. 東京	2. 伊丹	3. 神戸	4. 名古屋(中部)	5. 名古屋(小牧)	6. 沖縄	7. 天草
-------	-------	-------	------------	------------	-------	-------

■ はじめの行き先地

所要時間	分
------	---

目的の種類

1. 通勤	2. 通学	3. 業務	4. 私用	5. 観光	6. 帰社	7. 帰宅	8. その他
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

交通手段の種類

1. 徒歩	6. タクシー・ハイヤー	11. 送迎バス	17. 熊本電鉄
2. 自転車	7. 乗車用	12. 路線バス	18. 市電
3. 原動機付き自転車 (50cc以下)	8. 軽乗用車	13. 高速バス・都市間バス	19. 船舶
4. 自動二輪 (50ccを超える)	9. 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	14. 空港ライナー	20. 航空機
5. レンタカー	10. 自家用バス・貸切バス	15. JR新幹線	21. その他
	16. JR在来線		

■ その次の行き先地

所要時間	分
------	---

目的の種類

1. 通勤	2. 通学	3. 業務	4. 私用	5. 観光	6. 帰社	7. 帰宅	8. その他
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

交通手段の種類

1. 徒歩	6. タクシー・ハイヤー	11. 送迎バス	17. 熊本電鉄
2. 自転車	7. 乗車用	12. 路線バス	18. 市電
3. 原動機付き自転車 (50cc以下)	8. 軽乗用車	13. 高速バス・都市間バス	19. 船舶
4. 自動二輪 (50ccを超える)	9. 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	14. 空港ライナー	20. 航空機
5. レンタカー	10. 自家用バス・貸切バス	15. JR新幹線	21. その他
	16. JR在来線		

#### 3. 空港からの交通手段の選択理由をお聞かせください。

①所要時間が短い	④時間が正確である	⑦自動車が利用できない
②経済的である	⑤安全である	⑧公共交通が利用できない
③快適である	⑥荷物がある	
⑨その他(具体的に)		

#### 4. 空港からの交通手段の満足度についてお聞かせください。

①満足	②やや満足	③どちらともいえない	④やや不満	⑤不満
-----	-------	------------	-------	-----

#### 5. 空港から行き先地までの移動について問題点を聞かせてください。

①空港からの道路が渋滞している	⑤空港バスの運賃が高い
②駐車料金が安い	⑥空港バスの本数が少ない
③空港までの鉄道がない	⑦空港バスの車内が快適でない
④自動車に比べ空港バスの所要時間が長い	⑧その他(具体的に)

#### 6. 阿蘇くまもと空港と福岡空港の利用状況についてお聞かせください。

(1) 阿蘇くまもと空港の利用頻度をお聞かせください。

①週1回程度	②月に1回程度	③半年に1回程度	④年に1回程度	⑤その他
--------	---------	----------	---------	------

(2) 福岡空港の利用頻度をお聞かせください。

①週1回程度	②月に1回程度	③半年に1回程度	④年に1回程度	⑤ほとんど利用しない
--------	---------	----------	---------	------------

(3) 福岡空港を利用する方(①、②、③、④)にお尋ねします。福岡空港を利用する理由をお聞かせください。

①目的地までの飛行機の便数が福岡空港のほうが多い
②目的地までの飛行機が阿蘇くまもと空港にない
③目的地までの料金が福岡空港利用のほうが安い
④阿蘇くまもと空港より福岡空港までの所要時間が短い
⑤阿蘇くまもと空港より福岡空港までの公共交通の運行本数が多い
⑥阿蘇くまもと空港より福岡空港までの運賃が安い
⑦その他(具体的に)

# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

## ヒアリング調査票 案 (JR熊本駅 新幹線乗客用)

### 熊本駅ヒアリング調査票 (新幹線乗客用)

#### 1. あなたのことについてお聞きします。

(1) あなたの住所は？

都道 府県	市区 町村	丁目 番
----------	----------	---------

(2) あなたの性別は？

1, 男	2, 女
------	------

(3) あなたの年齢は？

1, 10代未満	2, 10代	3, 20代	4, 30代	5, 40代	6, 50代	7, 60代	8, 70代	9, 80代以上
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------

(3) あなたの職業は？

1, 有職者	2, 学生・生徒	3, 主婦・主夫・無職・その他
--------	----------	-----------------

#### 2. あなたの熊本駅までの一日の動きをお聞かせください。

■ 新幹線を降りる駅は

	駅
--	---

■ ひとつ前の出発地

	所要時間		分
--	------	--	---

目的の種類

1, 通勤	2, 通学	3, 業務	4, 私用	5, 観光	6, 帰社	7, 帰宅	8, その他
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

交通手段の種類

1, 徒歩	6, タクシー・ハイヤー	11, 路線バス	16, 市電
2, 自転車	7, 乗車用	12, 高速バス・都市間バス	17, 船舶
3, 原動機付き自転車 (50cc以下)	8, 軽乗用車	13, JR新幹線	18, 航空機
4, 自動二輪 (50ccを超える)	9, 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	14, JR在来線	19, その他
5, レンタカー	10, 自家用バス・貸切バス (送迎バスを含む)	15, 熊本電鉄	

■ その前の出発地

	所要時間		分
--	------	--	---

目的の種類

1, 通勤	2, 通学	3, 業務	4, 私用	5, 観光	6, 帰社	7, 帰宅	8, その他
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

交通手段の種類

1, 徒歩	6, タクシー・ハイヤー	11, 路線バス	16, 市電
2, 自転車	7, 乗車用	12, 高速バス・都市間バス	17, 船舶
3, 原動機付き自転車 (50cc以下)	8, 軽乗用車	13, JR新幹線	18, 航空機
4, 自動二輪 (50ccを超える)	9, 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	14, JR在来線	19, その他
5, レンタカー	10, 自家用バス・貸切バス (送迎バスを含む)	15, 熊本電鉄	

#### 3. 熊本駅までの交通手段の選択理由をお聞かせください。

①所要時間が短い	④時間が正確である	⑦自動車が利用できない
②経済的である	⑤安全である	⑧公共交通が利用できない
③快適である	⑥荷物がある	
⑨その他(具体的に		)

#### 4. 熊本駅までの交通手段の満足度についてお聞かせください。

①満足	②やや満足	③どちらともいえない	④やや不満	⑤不満
-----	-------	------------	-------	-----

#### 5. 熊本駅までのアクセスについて問題点を聞かせてください。

①駅までの道路が渋滞している	⑤市電の運賃が高い	⑨バスでの所要時間が長い
②駐車料金が安い	⑥市電の本数が少ない	⑩バスの運賃が高い
③市電との乗換えが不便である	⑦市電の車内が混雑している	⑪バスの本数が少ない
④市電での所要時間が長い	⑧バスとの乗換えが不便である	⑫バスの車内が混雑している
⑬その他(具体的に		)

#### 6. 九州新幹線開業後のJRの利用状況についてお聞かせください。

(1) 九州新幹線の利用頻度をお聞かせください。

①ほぼ毎日	②週に3回程度	③週に1回程度	④月に2回程度	⑤月に1回程度	⑥その他
-------	---------	---------	---------	---------	------

(2) JR在来線の利用頻度をお聞かせください。

①ほぼ毎日	②週に3回程度	③週に1回程度	④月に2回程度	⑤月に1回程度	⑥その他
-------	---------	---------	---------	---------	------

# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

## ヒアリング調査票 案 (JR熊本駅 新幹線降客用)

### 熊本駅ヒアリング調査票 (新幹線降客用)

#### 1. あなたのことについてお聞きします。

(1) あなたの住所は？

都道 府県	市区 町村	丁目 番
----------	----------	---------

(2) あなたの性別は？

1. 男	2. 女
------	------

(3) あなたの年齢は？

1, 10代未満	2, 10代	3, 20代	4, 30代	5, 40代	6, 50代	7, 60代	8, 70代	9, 80代以上
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------

(4) あなたの職業は？

1, 有職者	2, 学生・生徒	3, 主婦・主夫・無職・その他
--------	----------	-----------------

#### 2. あなたの熊本駅からの一日の動きをお聞かせください。

■ 新幹線に乗った駅は

	駅
--	---

■ はじめの行き先地

	所要時間		分
--	------	--	---

目的の種類

1, 通勤	2, 通学	3, 業務	4, 私用	5, 観光	6, 帰社	7, 帰宅	8, その他
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

交通手段の種類

1, 徒歩	6, タクシー・ハイヤー	11, 路線バス	16, 市電
2, 自転車	7, 乗車用	12, 高速バス・都市間バス	17, 船舶
3, 原動機付き自転車 (50cc以下)	8, 軽乗用車	13, JR新幹線	18, 航空機
4, 自動二輪 (50ccを超える)	9, 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	14, JR在来線	19, その他
5, レンタカー	10, 自家用バス・貸切バス (送迎バスを含む)	15, 熊本電鉄	

■ その次の行き先地

	所要時間		分
--	------	--	---

目的の種類

1, 通勤	2, 通学	3, 業務	4, 私用	5, 観光	6, 帰社	7, 帰宅	8, その他
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

交通手段の種類

1, 徒歩	6, タクシー・ハイヤー	11, 路線バス	16, 市電
2, 自転車	7, 乗車用	12, 高速バス・都市間バス	17, 船舶
3, 原動機付き自転車 (50cc以下)	8, 軽乗用車	13, JR新幹線	18, 航空機
4, 自動二輪 (50ccを超える)	9, 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	14, JR在来線	19, その他
5, レンタカー	10, 自家用バス・貸切バス (送迎バスを含む)	15, 熊本電鉄	

#### 3. 熊本駅からの交通手段の選択理由をお聞かせください。

①所要時間が短い	④時間が正確である	⑦自動車が利用できない
②経済的である	⑤安全である	⑧公共交通が利用できない
③快適である	⑥荷物がある	
⑨その他(具体的に)		)

#### 4. 熊本駅からの交通手段の満足度についてお聞かせください。

①満足	②やや満足	③どちらともいえない	④やや不満	⑤不満
-----	-------	------------	-------	-----

#### 5. 熊本駅から行き先地までの移動について問題点を聞かせてください。

①駅からの道路が渋滞している	⑤市電の運賃が高い	⑨バスでの所要時間が長い
②駐車料金が低い	⑥市電の本数が少ない	⑩バスの運賃が高い
③市電との乗換えが不便である	⑦市電の車内が混雑している	⑪バスの本数が少ない
④市電での所要時間が長い	⑧バスとの乗換えが不便である	⑫バスの車内が混雑している
⑬その他(具体的に)		)

#### 6. 九州新幹線開業後のJRの利用状況についてお聞かせください。

(1) 九州新幹線の利用頻度をお聞かせください。

①ほぼ毎日	②週に3回程度	③週に1回程度	④月に2回程度	⑤月に1回程度	⑥その他
-------	---------	---------	---------	---------	------

(2) JR在来線の利用頻度をお聞かせください。

①ほぼ毎日	②週に3回程度	③週に1回程度	④月に2回程度	⑤月に1回程度	⑥その他
-------	---------	---------	---------	---------	------



# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

## ヒアリング調査票 案 (JR熊本駅 在来線降客用)

### 熊本駅ヒアリング調査票 (在来線降客用)

#### 1. あなたのことについてお聞きします。

(1) あなたの住所は？

都道府県	市区町村	丁目番
------	------	-----

(2) あなたの性別は？

1. 男	2. 女
------	------

(3) あなたの年齢は？

1, 10代未満	2, 10代	3, 20代	4, 30代	5, 40代	6, 50代	7, 60代	8, 70代	9, 80代以上
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------

(4) あなたの職業は？

1, 有職者	2, 学生・生徒	3, 主婦・主夫・無職・その他
--------	----------	-----------------

#### 2. あなたの熊本駅からの一日の動きをお聞かせください。

■ JR在来線に乗った駅は

駅
---

■ はじめの行き先地

目的地	所要時間	分
-----	------	---

目的の種類

1, 通勤	2, 通学	3, 業務	4, 私用	5, 観光	6, 帰社	7, 帰宅	8, その他
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

交通手段の種類

1, 徒歩	6, タクシー・ハイヤー	11, 路線バス	16, 市電
2, 自転車	7, 乗車用	12, 高速バス・都市間バス	17, 船舶
3, 原動機付き自転車 (50cc以下)	8, 軽乗用車	13, JR新幹線	18, 航空機
4, 自動二輪 (50ccを超える)	9, 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	14, JR在来線	19, その他
5, レンタカー	10, 自家用バス・貸切バス (送迎バスを含む)	15, 熊本電鉄	

■ その次の行き先地

目的地	所要時間	分
-----	------	---

目的の種類

1, 通勤	2, 通学	3, 業務	4, 私用	5, 観光	6, 帰社	7, 帰宅	8, その他
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

交通手段の種類

1, 徒歩	6, タクシー・ハイヤー	11, 路線バス	16, 市電
2, 自転車	7, 乗車用	12, 高速バス・都市間バス	17, 船舶
3, 原動機付き自転車 (50cc以下)	8, 軽乗用車	13, JR新幹線	18, 航空機
4, 自動二輪 (50ccを超える)	9, 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	14, JR在来線	19, その他
5, レンタカー	10, 自家用バス・貸切バス (送迎バスを含む)	15, 熊本電鉄	

#### 3. 熊本駅からの交通手段の選択理由をお聞かせください。

①所要時間が短い	④時間が正確である	⑦自動車が利用できない
②経済的である	⑤安全である	⑧公共交通が利用できない
③快適である	⑥荷物がある	
⑨その他(具体的に)		

#### 4. 熊本駅からの交通手段の満足度についてお聞かせください。

①満足	②やや満足	③どちらともいえない	④やや不満	⑤不満
-----	-------	------------	-------	-----

#### 5. 熊本駅から行き先地までの移動について問題点を聞かせてください。

①駅からの道路が渋滞している	⑤市電の運賃が高い	⑨バスでの所要時間が長い
②駐車料金が安い	⑥市電の本数が少ない	⑩バスの運賃が高い
③市電との乗換えが不便である	⑦市電の車内が混雑している	⑪バスの本数が少ない
④市電での所要時間が長い	⑧バスとの乗換えが不便である	⑫バスの車内が混雑している
⑬その他(具体的に)		

#### 6. 九州新幹線開業後のJRの利用状況についてお聞かせください。

(1) 九州新幹線の利用頻度をお聞かせください。

①ほぼ毎日	②週に3回程度	③週に1回程度	④月に2回程度	⑤月に1回程度	⑥その他
-------	---------	---------	---------	---------	------

(2) JR在来線の利用頻度をお聞かせください。

①ほぼ毎日	②週に3回程度	③週に1回程度	④月に2回程度	⑤月に1回程度	⑥その他
-------	---------	---------	---------	---------	------

# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

アンケートハガキ案 (阿蘇くまもと空港・JR熊本駅 乗客・降客すべて共通)

(表面)



差出有効期間  
令和●年●月  
●日まで

郵便はがき

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

熊本県 熊本市 中央区  
水前寺 6丁目18番1号

熊本県 土木部 道路都市局  
都市計画課 行

(1) あなたの住所は  
(できるだけ、丁目までご記入ください)

都道府県	市町村	丁目町
------	-----	-----

(2) あなたの性別,年齢,職業は

性別 1.男 2.女

年齢 満  歳

職業

ハガキの他、  
外出先等でも回答可能な  
WEB調査を開設

アンケートにご協力ください

◆おねがい◆

この調査は、皆様の交通手段の利用状況等を把握し、将来の交通計画をたてるための基礎資料を得ることを目的としています。より良い交通計画をつくるためには、この調査結果が必要となります。

どうぞ、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、ご回答頂いた内容は、この目的以外には使用せず、統計的に処理し個人が特定されるようなことはありませんので、ご安心ください。

令和5年●月

●以下のいずれかの方法でご回答ください

ハガキによる回答

記入には、裏面の  
★記入上の注意★  
をお読みのうえご記入ください。

記入後は左のページを切り離し、  
●月●日(●)までに  
ご投函ください。  
(切手は不要です)

スマートフォン、  
タブレットによる回答

スマートフォン、タブレットから  
WEBによる回答が  
ご利用いただけます。

調査回答ページは  
こちら



熊本都市圏総合交通計画協議会 調査実施本部  
フリーダイヤル : 0120-000-000  
(午前9時~午後6時、日・祝日を除く)

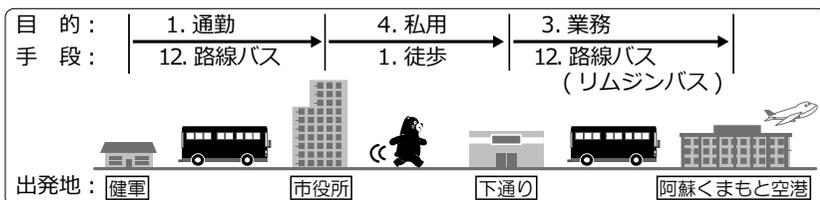
# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

## アンケートハガキ 案 (阿蘇くまもと空港 乗客用)

(裏面)

### ★記入上の注意★

- 阿蘇くまもと空港までの「動き」について、目的ごとに、行った場所とそこまでの利用交通手段、及び目的について、右の調査票にお答えください。
- 「動き」は目的ごとに記入します。たとえば、健軍1丁目の自宅から熊本市役所へ通勤し、下通1丁目で食事をしたあとに、業務で東京行きの飛行機に乗るために阿蘇くまもと空港に到着した場合、3つの動きとなります。出発地は「健軍1丁目」「熊本市役所」「下通1丁目」で、目的は「通勤」「私用」「業務」となります。



- 『目的』は下の「目的の種類」から、また利用した『手段』は「交通手段の種類」から番号を選んでご記入ください。
- 『出発地』はできるだけ詳しくご記入ください。詳しい地名がわからない場合は、その建物名や付近の有名な建物名、施設名などをご記入ください。
- なお、出発地から次の出発地までに複数の交通手段を利用した場合は、主な交通手段を3つまでご記入ください。

目的の種類	交通手段の種類		
1. 通勤	1. 徒歩	7. 乗用車	14. 空港ライナー
2. 通学	2. 自転車	8. 軽乗用車	15. JR新幹線
3. 業務	3. 原動機付き自転車 (50cc以下)	9. 貨物自動車・軽貨物車 (バイクを含む)	16. JR在来線
4. 私用	4. 自動二輪車 (50ccを超える)	10. 家用バス・貸切バス	17. 熊本電鉄(鉄道)
5. 観光	5. バイク	11. 送迎バス	18. 市電
6. 帰社	6. タクシー・バイク	12. 路線バス (リムジンバス)	19. 船舶
7. 帰宅		13. 高速バス・都市間バス	20. 航空機
8. その他			21. その他

- 阿蘇くまもと空港までの今日一日の動きと、飛行機の行き先についてご記入ください。

乗客用

飛行機の行き先空港



阿蘇くまもと空港

ひとつ前の  
出発地

その前の  
出発地

その前の  
出発地

最初の  
出発地

目的( )  
手段( , , )

目的( )  
手段( , , )

目的( )  
手段( , , )

- 阿蘇くまもと空港までの交通事情について、ご意見やご要望をお聞かせください。

No.

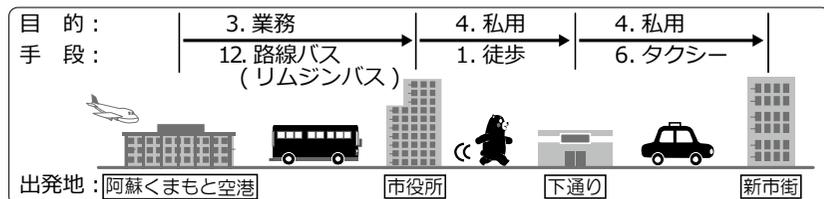
# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

## アンケートハガキ 案 (阿蘇くまもと空港 降客用)

(裏面)

### ★記入上の注意★

- 阿蘇くまもと空港からの「動き」について、目的ごとに、行った場所とそこまでの利用交通手段、及び目的について、右の調査票にお答えください。
- 「動き」は目的ごとに記入します。たとえば、阿蘇くまもと空港で飛行機を降りたあと、業務で熊本市役所へ行き、下通1丁目で食事をし、その後、水前寺1丁目のホテルに宿泊した場合、3つの動きとなります。行き先地は「熊本市役所」「下通1丁目」「水前寺1丁目」で、目的は「業務」「私用」「私用」となります。



- 『目的』は下の「目的の種類」から、また利用した『手段』は「交通手段の種類」から番号を選んでご記入ください。
- 『行き先地』はできるだけ詳しくご記入ください。詳しい地名がわからない場合は、その建物名や付近の有名な建物名、施設名などをご記入ください。
- なお、行き先地から次の行き先地までに複数の交通手段を利用した場合は、主な交通手段を3つまでご記入ください。

目的の種類	交通手段の種類		
1. 通勤	1. 徒歩	7. 乗用車	14. 空港ライナー
2. 通学	2. 自転車	8. 軽乗用車	15. JR新幹線
3. 業務	3. 原動機付き自転車 (50cc以下)	9. 貨物自動車・軽貨物車 (バイクを含む)	16. JR在来線
4. 私用	4. 自動二輪車 (50ccを超える)	10. 自家用バス・貸切バス	17. 熊本電鉄(鉄道)
5. 観光	5. イカ-	11. 送迎バス	18. 市電
6. 帰社	6. タクシー・バイク	12. 路線バス (リムジンバス)	19. 船舶
7. 帰宅		13. 高速バス・都市間バス	20. 航空機
8. その他			21. その他

- 飛行機に乗った空港と阿蘇くまもと空港からの今日一日の動きについてご記入ください。

降客用

飛行機に乗った空港

阿蘇くまもと空港

はじめの行き先地

その次の行き先地

その次の行き先地

最後の行き先地

目的( )

手段( , , )

目的( )

手段( , , )

目的( )

手段( , , )

- 阿蘇くまもと空港からの交通事情について、ご意見やご要望をお聞かせください。

No.

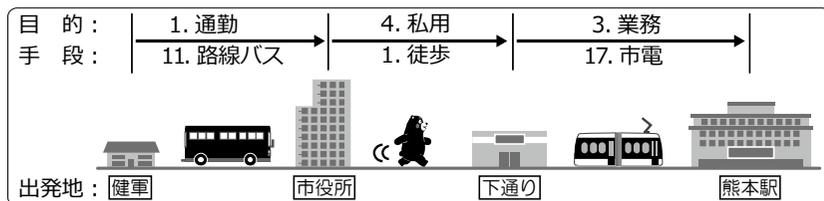
# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

## アンケートハガキ案 (JR熊本駅 新幹線 乗客用)

(裏面)

### ★記入上の注意★

- 熊本駅までの「動き」について、目的ごとに、行った場所とそこまでの利用交通手段、及び目的について、右の調査票にお答えください。
- 「動き」は目的ごとに記入します。たとえば、健軍1丁目の自宅から熊本市役所へ通勤し、下通1丁目で食事をしたあとに、業務で博多駅行きの新幹線に乗るために熊本駅に到着した場合、3つの動きとなります。出発地は「健軍1丁目」「熊本市役所」「下通1丁目」で、目的は「通勤」「私用」「業務」となります。



- 『目的』は下の「目的の種類」から、また利用した『手段』は「交通手段の種類」から番号を選んでご記入ください。
- 『出発地』はできるだけ詳しくご記入ください。詳しい地名がわからない場合は、その建物名や付近の有名な建物名、施設名などをご記入ください。
- なお、出発地から次の出発地までに複数の交通手段を利用した場合は、主な交通手段を3つまでご記入ください。

目的の種類	交通手段の種類		
1. 通勤	1. 徒歩	7. 乗用車	13. JR新幹線
2. 通学	2. 自転車	8. 軽乗用車	14. JR在来線
3. 業務	3. 原動機付き自転車 (50cc以下)	9. 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	15. 熊本電鉄 (鉄道)
4. 私用	4. 自動二輪車 (50ccを超える)	10. 自家用バス・貸切バス (送迎バスを含む)	16. 市電
5. 観光	5. レンタカー	11. 路線バス	17. 船舶
6. 帰社	6. タクシー・ハイヤー	12. 高速バス・都市間バス	18. 航空機
7. 帰宅			19. その他
8. その他			

- 熊本駅までの今日一日の動きと、電車を降りた駅についてご記入ください。

乗客用  
(新幹線)

電車を降りた駅

熊本駅

ひとつ前の出発地

その前の出発地

その前の出発地

最初の出発地

目的( )

手段( , , )

目的( )

手段( , , )

目的( )

手段( , , )

- 熊本駅までの交通事情について、ご意見やご要望をお聞かせください。

意見や要望の記入欄

No. \_\_\_\_\_

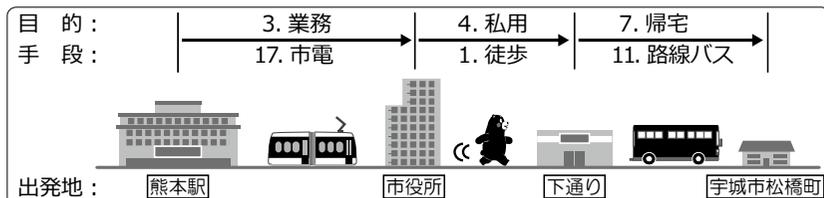
# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

## アンケートハガキ 案 (JR熊本駅 新幹線 降客用)

(裏面)

### ★記入上の注意★

- 熊本駅からの「動き」について、目的ごとに、行った場所とそこまでの利用交通手段、及び目的について、右の調査票にお答えください。
- 「動き」は目的ごとに記入します。たとえば、熊本駅から業務で熊本市役所へ行き、下通1丁目で食事をしたあとに、宇城市松橋町の自宅に帰る場合、3つの動きとなります。行き先地は「熊本市役所」「下通1丁目」「宇城市松橋町」で、目的は「業務」「私用」「帰宅」となります。



- 『目的』は下の「目的の種類」から、また利用した『手段』は「交通手段の種類」から番号を選んでご記入ください。
- 『行き先地』はできるだけ詳しくご記入ください。詳しい地名がわからない場合は、その建物名や付近の有名な建物名、施設名などをご記入ください。
- なお、行き先地から次の行き先地までに複数の交通手段を利用した場合は、主な交通手段を3つまでご記入ください。

目的の種類	交通手段の種類		
1. 通勤	1. 徒歩	7. 乗用車	13. JR新幹線
2. 通学	2. 自転車	8. 軽乗用車	14. JR在来線
3. 業務	3. 原動機付き自転車	9. 貨物自動車・軽貨物車	15. 熊本電鉄
4. 私用	(50cc以下)	(ライトバンを含む)	(鉄道)
5. 観光	4. 自動二輪車	10. 自家用バス・貸切バス	16. 市電
6. 帰社	(50ccを超える)	(送迎バスを含む)	17. 船舶
7. 帰宅	5. レンタカー	11. 路線バス	18. 航空機
8. その他	6. タクシー・ハイヤー	12. 高速バス・都市間バス	19. その他

- 電車に乗った駅と、熊本駅からの今日一日の動きについてご記入ください。

降客用  
(新幹線)

最初に電車に乗った駅

熊本駅

はじめて  
行き先地

目的( )  
手段( , , )

その次の  
行き先地

目的( )  
手段( , , )

その次の  
行き先地

目的( )  
手段( , , )

最後の  
行き先地

- 熊本駅からの交通事情について、ご意見やご要望をお聞かせください。

No.

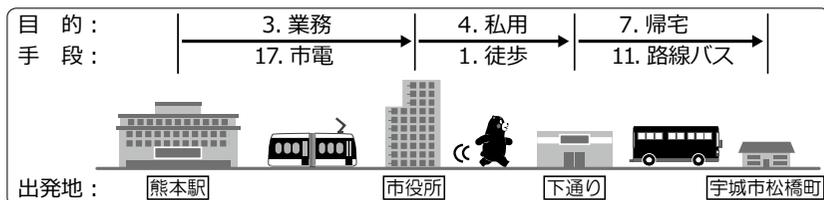
# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

## アンケートハガキ 案 (JR熊本駅 在来線 降客用)

(裏面)

### ★記入上の注意★

- 熊本駅からの「動き」について、目的ごとに、行った場所とそこまでの利用交通手段、及び目的について、右の調査票にお答えください。
- 「動き」は目的ごとに記入します。たとえば、熊本駅から業務で熊本市役所へ行き、下通1丁目で食事をしたあとに、宇城市松橋町の自宅に帰る場合、3つの動きとなります。行き先地は「熊本市役所」「下通1丁目」「宇城市松橋町」で、目的は「業務」「私用」「帰宅」となります。



- 『目的』は下の「目的の種類」から、また利用した『手段』は「交通手段の種類」から番号を選んでご記入ください。
- 『行き先地』はできるだけ詳しくご記入ください。詳しい地名がわからない場合は、その建物名や付近の有名な建物名、施設名などをご記入ください。
- なお、行き先地から次の行き先地までに複数の交通手段を利用した場合は、主な交通手段を3つまでご記入ください。

目的の種類	交通手段の種類		
1. 通勤	1. 徒歩	7. 乗用車	13. JR新幹線
2. 通学	2. 自転車	8. 軽乗用車	14. JR在来線
3. 業務	3. 原動機付き自転車 (50cc以下)	9. 貨物自動車・軽貨物車 (ライトバンを含む)	15. 熊本電鉄 (鉄道)
4. 私用	4. 自動二輪車 (50ccを超える)	10. 自家用バス・貸切バス (送迎バスを含む)	16. 市電
5. 観光	5. レンタカー	11. 路線バス	17. 船舶
6. 帰社	6. タクシー・ハイヤー	12. 高速バス・都市間バス	18. 航空機
7. 帰宅			19. その他
8. その他			

- 電車に乗った駅と、熊本駅からの今日一日の動きについてご記入ください。

降客用  
(在来線)

最初に電車に乗った駅

熊本駅

はじめて  
行き先地

目的( )  
手段( , , )

その次の  
行き先地

目的( )  
手段( , , )

その次の  
行き先地

目的( )  
手段( , , )

最後の  
行き先地

- 熊本駅からの交通事情について、ご意見やご要望をお聞かせください。

No.

# (3) 補完調査 (コードライン調査 OD調査)

●スマートフォンでも回答できるように、WEB回答ページを作成。

■スマートフォン回答ページ (イメージ、抜粋)

**アンケートにご協力ください**

**熊本駅までの「動き」について**

熊本駅までの「動き」について、目的ごとに、行った場所とそこまでの利用交通手段、及び目的についてお答えください。

**回答上の注意**

**1番目に行った場所** についてご回答ください。

1. 自宅  
 2. 自宅以外  
 3. 熊本駅

**1番目に行った場所** の住所をお答えください。

※地図上をタップ・クリックすることで住所を回答できます。または施設名、住所、駅名から住所を検索することができます。

検索方法をお選びください。

**郵便番号** **施設名** **地図**



**【住所】**  
都道府県  
-選択-  
市区町村  
-選択-  
町・丁目以降

**【建物名・付近の有名な建物名・施設名】**

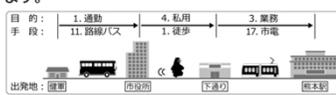
**次へ進む**

**前の画面へ戻る**

**トップ画面へ戻る**

**<回答上の注意>**

「動き」は目的ごとに入力します。たとえば、健軍1丁目の自宅から熊本市役所へ通勤し、下通1丁目ですごしたあとに、業務で博多駅行きの新幹線に乗るために熊本駅に到着した場合、3つの動きとなります。出発地は「健軍1丁目」「熊本市役所」「下通1丁目」で、目的は「通勤」「私用」「業務」となります。



**アンケートにご協力ください**

**熊本駅までの「動き」について**

**自宅** から **熊本県 熊本中央区 手取本町 1-1** への移動について回答してください。

**1番目に行った場所への移動目的**

-選択-

**1番目に行った場所への交通手段についてご回答ください。**

**経路検索機能をご利用いただけます。**

**検索はこちらから**

**交通手段1** 交通手段を選択

東降駅・乗り継ぎ駅

**交通手段2** 交通手段を選択

東降駅・乗り継ぎ駅

**交通手段3** 交通手段を選択

東降駅・乗り継ぎ駅

**交通手段4** 交通手段を選択

東降駅・乗り継ぎ駅

**交通手段5** 交通手段を選択

**交通手段の入力欄を増やす**

**交通手段の入力をクリア**

**熊本駅までの動きと、電車を降りた駅までご回答いただけましたか？**

1. 回答していない  
 2. 回答した

**次へ進む**

**前の画面へ戻る**

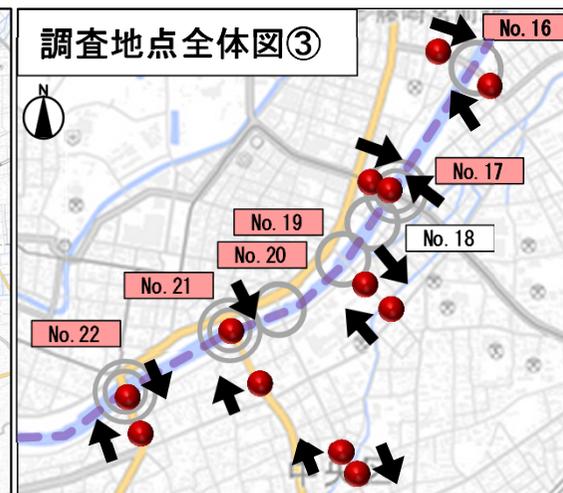
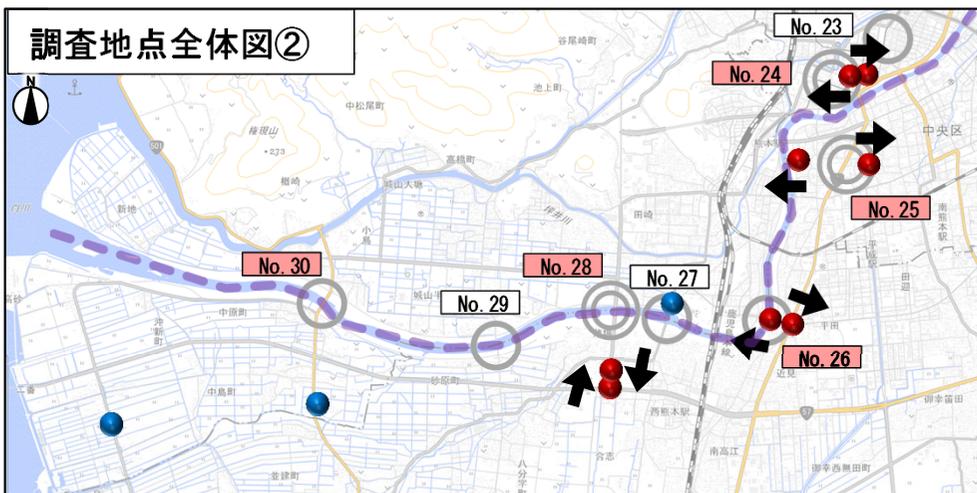
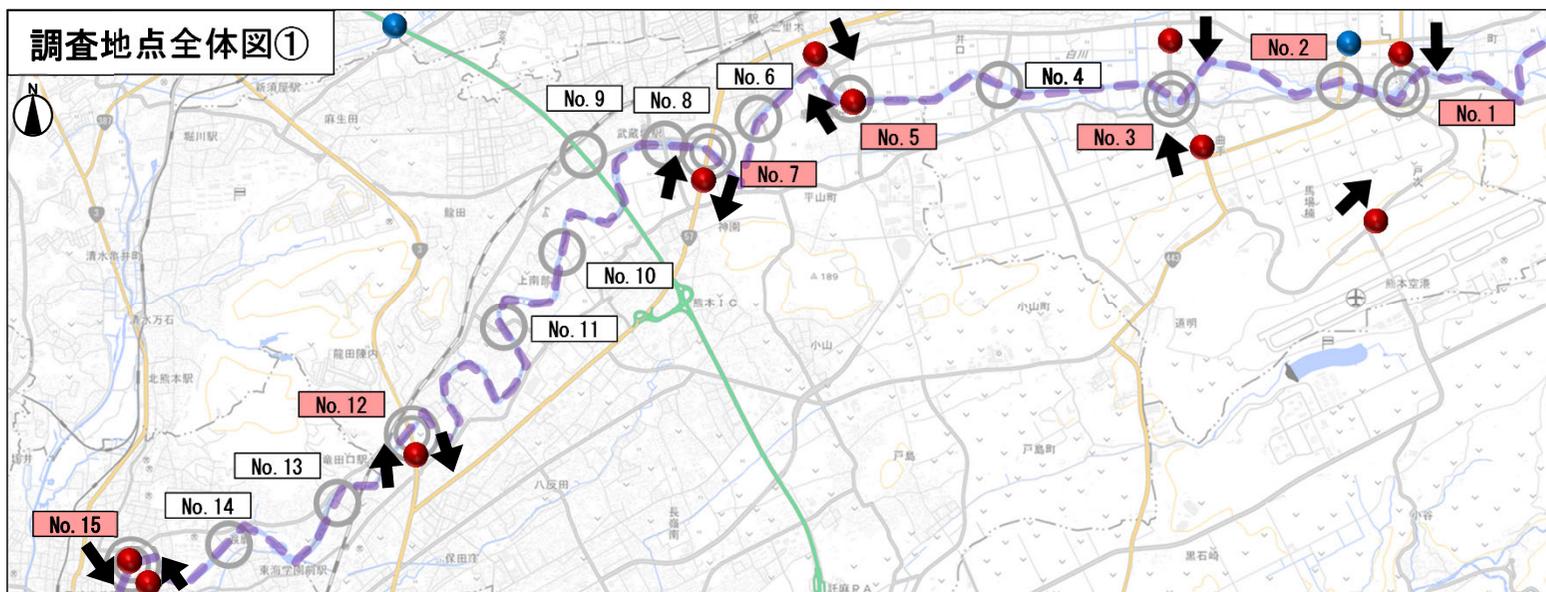
**トップ画面へ戻る**

# (3) 補完調査 (スクリーンライン調査)

## スクリーンライン調査

- 予測モデル(現況分析)の自動車交通量について再現性を検証するため、主要渡河断面の交通量を把握。
- 既存データでの精度保証は可能と判断し、警察トラフィックカウンターおよびR3年度全国・道路街路交通情勢調査の交通量観測結果等、データを活用（現地での交通量調査は実施しない）。

### スクリーンライン調査

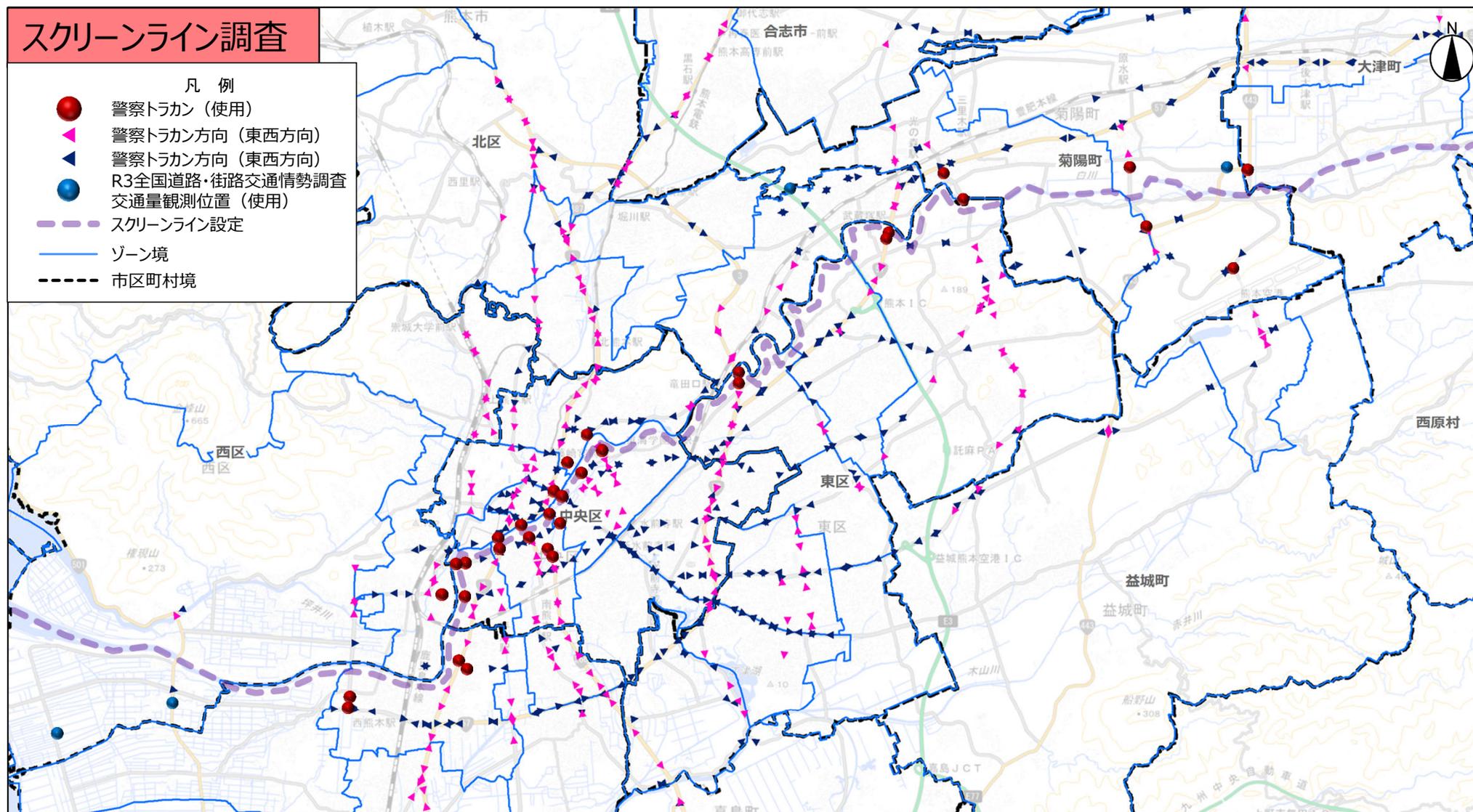


- 凡例
- 24時間交通量調査 (H24調査)
  - 12時間交通量調査 (H24調査)
  - 警察トラカン位置
  - 警察トラカン方向
  - R3全国・道路街路交通情勢調査交通量観測区間
  - スクリーンライン設定
  - 代替 警察トラカンあり
  - 代替 警察トラカンなし

# (3) 補完調査 (スクリーンライン調査)

## スクリーンライン調査

- 白川以外でのスクリーンラインについて検討。
- 警察トラフィックカウンターやR3年度全国道路・街路交通情勢調査交通量観測位置は主要道路に設置されており、その道路はほぼ白川を渡河するため、今回も白川をスクリーンラインに設定することが有効と判断。



# (3) 補完調査 (着地調査)

## 着地調査

- 将来のOD分布を検討するため、着地点（通学・通勤先）となりうる学校や企業における人の動きを把握。
- 学校で働く教員や学生、企業で働く従業員等に対してパーソントリップ調査への協力を依頼し、WEB調査を実施（本体調査のみ）。



▲着地調査対象企業等位置図

### ■ 調査の対象

- ① 東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパス（学生約900人）
- ② セミコンテクノパーク内の企業（従業員数1,000人以上の企業）
- ③ アイシン九州(株)（従業員約1,000人）

### ■ 調査実施時期

令和5年10月下旬（本体調査第3ロット配布後）  
（行動回答期間：第3ロットと同期間とする。）

### ■ 調査方法

- ① 上記で対象とする学校及び企業に調査依頼
- ② 調査実施依頼を学校及び企業から学生、職員、従業員に周知いただき、本体調査のみをWEBから回答

## **(4) 回收率向上方策**

# (4) 回収率向上方策

- 調査物件及び調査方法の工夫による信頼性の確保、WEB回答方法の拡大による対象者の負担軽減、インセンティブの付与や広報活動によるWeb回答率の向上及び調査への認知度向上を図る。

	方策	具体的対応
調査への信頼性の確保	丁寧な調査依頼及び御礼	お願いハガキ、協力依頼状及びお礼ハガキの送付による調査依頼及び御礼の送付
	首長のサイン・顔写真入り依頼状	県知事、熊本市長（熊本市のみ）の直筆サイン及び顔写真を添付した調査協力の依頼状を送付
	個人情報取り扱いの明記	調査協力の依頼状、調査のお願い及びホームページにおける個人情報の取扱いに関する明記
	行政機関名入り発送・返信封筒（宛先）	熊本都市圏総合交通計画協議会の名称に加え、熊本県 都市計画課、熊本市都市政策課の名称を並記
	調査目的・活用方法の丁寧な説明	調査のご説明やホームページに調査目的及び調査結果の活用方法を説明し、今後の都市政策を検討するために必要な調査である旨を説明
	問い合わせ対応	調査実施事務所を設立し、フリーダイヤル及びホームページからの問い合わせ対応を実施
対象者の負担軽減	WEB調査【今回拡大】	紙媒体の回答の他、PC及びスマートフォンから回答可能なWEB調査を実施
	QRコードによる自動ログイン化【今回追加】	スマートフォン、タブレットの回答者がログインID、パスワードを入力しなくてよいQRコードを発行
	調査票の回答支援【今回追加】	移動の履歴を回答するにあたり、詳細な場所を検索しなくても済むように郵便番号、施設名、地図等による住所入力や経路探索システムを活用した移動経路の入力の省力化を実施
	回答者が選択可能な調査方法の充実【今回追加】	同一世帯で紙媒体での回答、WEBでの回答と好みに応じて回答可能なように設定
	記入方法の丁寧な説明	調査票の記入の仕方について、紙媒体の同封の他、Youtubeやホームページに回答方法に関する説明を実施
Web回答率の向上	Web回答者へのインセンティブの付与【今回変更】	WEB回答率を向上のために、WEB回答者に謝礼を進呈
	広報を用いた調査対象者以外のWEB調査【今回追加】	大々的に実施した広報を見た熊本都市圏居住者が自主的にWEB調査に協力してもらえるように、協議会ホームページにWEB調査（オープン回答）を開設
	WEB調査システムの改良【今回追加】	WEB調査システムを事務局関係者（約300名）でテストし、操作性、分かりやすさの視点から、複数人によるチェック、改良等を実施し、短時間で回答しやすいシステムを構築。
調査への認知度向上	くまモンを活用した広報活動	ホームページ、ポスター・チラシ、街頭での調査協力依頼に熊本県の代表的キャラクター「くまモン」を活用した広報活動
	広報媒体を活用した広報活動	広報誌、新聞、ラジオ、テレビの広報媒体を活用した広報活動
	SNSを活用した広報活動	自治体が公式アカウントとして保有するSNSを活用した広報活動

# (4) 回収率向上方策 (調査への信頼性の確保)

## 前回

熊本都市圏にお住いの皆様へ

### 熊本都市圏パーソントリップ調査へのご協力をお願い



日頃から、熊本県政並びに熊本市政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、熊本県、熊本市では「熊本都市圏総合交通計画協議会」を設立し、学識経験者、国、関係市町村等と共同で、

少子高齢化などの社会情勢の変化を踏まえた将来の交通のあり方について検討を始めた。

今回、熊本市を含む5市6町1村（熊本都市圏）にお住まいの方から無作為に抽出した約12万世帯の方（世帯を構成する満5歳以上の全ての方）を対象に日頃の交通実態をお尋ねすることといたしました。

調査結果は、今後の道路整備や鉄道・バスなどの公共交通のあり方、また自転車・歩行者の安全性の確保など、将来のまちづくりや交通計画を検討する貴重なデータとして活用してまいります。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、この調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、この目的以外には使用せず、統計的に処理し個人が特定されるようなことはございません。

また、調査票については調査終了後、県と市が責任を持って処分いたしますので、ご安心ください。

平成24年10月

熊本県知事 蒲島郁夫

熊本市長 幸山政史

## 今回 (案)

熊本都市圏にお住いの皆様へ

### 熊本都市圏パーソントリップ調査へのご協力をお願い

日頃から、熊本県政並びに熊本市政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

熊本県、熊本市では「熊本都市圏総合交通計画協議会」を設立しており、学識経験者、国、関係市町村、関係団体等と共同で、熊本都市圏における望ましい交通のあるべき姿を目指して、関係機関相互により総合的な都市交通に関する検討及び協議を進めております。

今回、熊本市を含む5市6町1村（熊本都市圏）にお住まいの方から無作為に抽出した約5万世帯の方（世帯を構成する満5歳以上の全ての方）を対象に日頃の交通実態をお尋ねすることといたしました。

調査結果は、今後の道路整備や鉄道・バスなどの公共交通のあり方など、将来のまちづくりや交通計画を検討する貴重なデータとして活用してまいります。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、この調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査の回答方法は、スマートフォンやパソコンでご回答いただけるWEB回答サイトも準備させていただきました。移動先や利用した交通手段等、簡単にご回答いただけるように工夫しております。ぜひご活用ください。

なお、調査の過程で得られる個人情報については、関連する法令等に基づき厳重に管理しております。ご回答いただいた内容は、この目的以外には使用せず、統計的に処理し個人が特定されるようなことはございません。

また、調査票については調査終了後、熊本県と熊本市が責任を持って処分いたしますので、ご安心ください。

令和5年10月



熊本県知事 蒲島 郁夫

直筆サインに  
差換予定



熊本市長 大西 一史

直筆サインに  
差換予定

※赤字は、前回調査のお願い文より変更した箇所

現在の協議会要綱の「目的」を反映

WEB回答を推奨する文章を追加記載

個人情報管理を厳重に取扱い、安心してご回答いただけるように記載

# (4) 回収率向上方策 (対象者の負担軽減)

●スマートフォン、タブレットによる回答者の負担軽減のため、ログインID、パスワードを含めたQRコードを生成。

## ■スマートフォン回答ページ (ログイン画面イメージ、抜粋)

**調査のご説明**  
はじめにお読みください

〒XXXX-XXXX  
熊本県〇〇市〇〇X-X-X  
〇〇 〇〇様  
整理番号バーコード

この封筒に入っているもの

- ① 熊本都市圏パーソントリップ調査ご協力のお礼
- ② 調査のご説明(このチラシ)
- ③ 個人票の記入にあたって/個人票の記入例(表裏)
- ④ 調査票(回答用紙です。【世帯票】・【個人票】・【普段の生活などに関する調査】についてご回答ください。)
- ⑤ 返信用封筒
- ⑥ ホールペン(記入にご利用ください。使用後はご自宅でお使いください。)

**【回答の流れ】**

**回答の依頼**  
10月～11月にかけて調査依頼および調査票等が郵送されます。

**インターネットで回答**  
ホームページ  
(<https://www.r-kumamoto-pt.jp/>)  
アクセスし、画面表示にしたがって回答してください。

**調査票で回答**  
郵送された調査票に記入してください。

**調査票を送信**  
ご記入いただいた調査票を同封した返信用封筒にて郵送ください。なお、切手は不要です。

**終了**

**回答方法・回答期限について**  
インターネット(推奨)または、同封いたしました調査票のいずれかの方法で回答期限内にご回答をお願いします。

**回答を頂く対象日**  
個人票の移動に関する回答は、下記の対象日のいずれか1日をご記入ください。

**回答期限** | 令和5年●月●日(●) | **対象日** | 令和5年●月●日(●)～令和5年●月●日(●)

**推奨 方法①** インターネット(スマートフォンやパソコン)で回答する

下記(調査回答ページ)のアドレスにアクセスいただき、ログインIDとパスワードを入力の上、ご回答ください。(インターネットでご回答いただく際は、世帯の方が、一度にまとめて入力いただくことスムーズです。)

**調査回答ページはこちら**

調査回答ページのアドレス <https://www.r-kumamoto-pt.jp>

あなたの世帯のログインID  
パスワード

ログインID: 123456789  
パスワード: abcdef

※配布のログインID、パスワードを紛失しないよう十分ご注意ください。  
本紙を破棄される際についても十分注意して破棄してください。

セキュリティを確保し、回答者の負担軽減のために、ログインID、パスワードを含めたQRコードを発行

WEB回答ページへ  
(回答TOPページへ)

**熊本都市圏**  
**パーソントリップ調査**

1 2 3 4 5 6  
ログイン トップ 世帯票 回答者の 個人票 調査終了  
選択

**回答方法のご説明**

ご回答をお願いするものは、「世帯票」「個人票」の2種類です。  
以下の回答の流れに沿って、ご回答ください。

**【回答締切日】**  
**5月19日(金)**  
までにご回答ください。

**世帯票【1】**

- ・あなたの世帯全体についてお答えください。
- ・世帯の代表者(世帯主)がお答えください。(やむを得ず、世帯主の代理の方が入力いただいても構いません)

未回答 回答する

**世帯票【2】**

- ・一緒にお住いのご家族の方全員についてお答えください。
- ・世帯の代表者(世帯主)がお答えください。(やむを得ず、世帯主の代理の方が入力いただいても構いません)

未回答 回答する

**個人票**

- ・調査日の行動についてお答えください。
- ・一緒にお住いのご家族(5歳以上)の方全員についてお答えください。

未回答 回答する

**途中保存してログアウト**



# (4) 回収率向上方策 (対象者の負担軽減)

● 回答者の入力負担を軽減するために、「郵便番号」、「施設名」、「地図」から位置を入力できるように工夫。

## ■ スマートフォン回答ページ (世帯票イメージ、抜粋)

ローソン A店  
ローソン B店

# (4) 回収率向上方策 (対象者の負担軽減)

- 回答者の入力負担を軽減するために、「経路検索機能」を活用し、交通手段や駅名を入力できるように工夫。

## ■ スマートフォン回答ページ (個人票イメージ、抜粋)

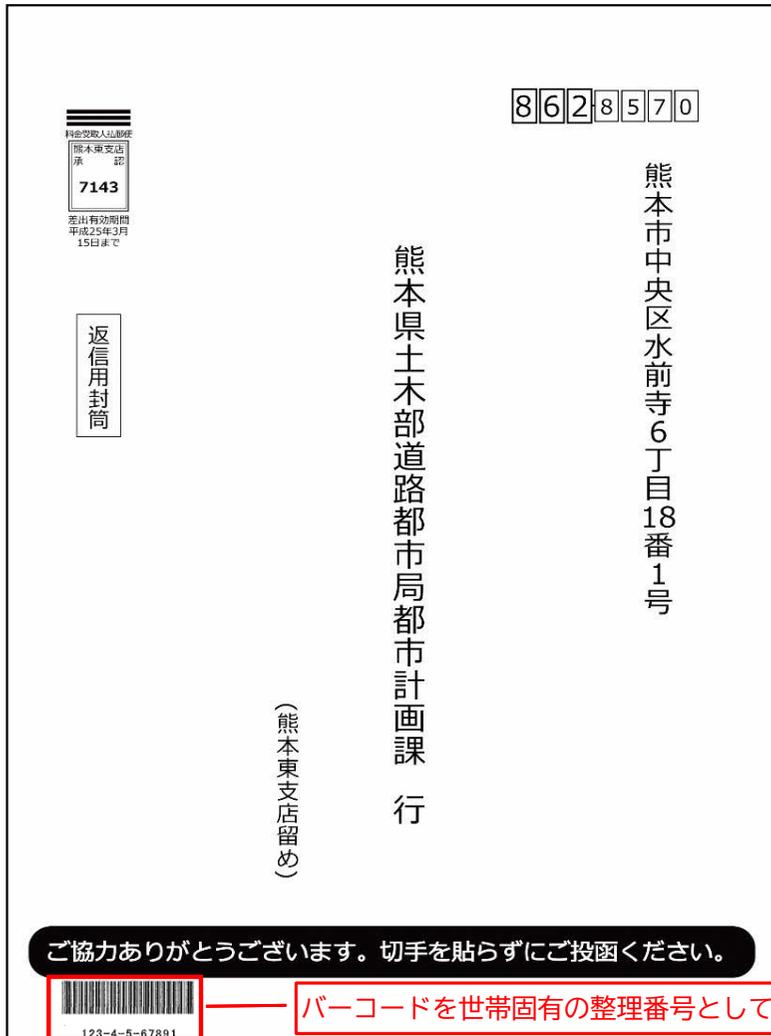
The image shows a multi-panel screenshot of a survey form. The left panel contains the 'Personal Ticket (Location)' section with a date selector for '4月11日 (火)' and a '1番目' (1st) question about the location. Below this is a search interface with a map, dropdown menus for '都道府県' (Prefecture) and '市区町村' (City/Town/Village), and a search button labeled '住所検索'. The right panel shows the 'Personal Ticket (Movement)' section with a date selector for '4月11日 (火)' and a '1番目' (1st) question about the movement. It includes a time selection interface for departure and arrival times, a dropdown for '交通手段' (Mode of transport), and a '経路検索機能' (Route search function) button. A red box highlights the time selection interface with the text '選択は0~59分の1分刻み (他都市圏同様)'. Another red box highlights the '経路検索機能' button with the text '経路検索機能は、「いつもNavi」の検索エンジンを活用。⇒ルート検索結果から、交通手段や駅名、バス停等の入力を補助。'. The bottom right panel shows a '交通手段の入力をクリア' (Clear transport mode input) button.

経路検索機能は、「いつもNavi」の検索エンジンを活用。  
⇒ルート検索結果から、交通手段や駅名、バス停等の入力を補助。

# (4) 回収率向上方策 (対象者の負担軽減)

- パーソントリップ調査で、紙面とWEBの任意で回答可能なように対応を実施。
- 同一世帯内で、紙面による回答、WEBによる回答は世帯員が任意に選択可能。また、紙面とWEB両方で回答した場合、回答内容を見たとうえで回答精度が高い方を採用し、重複分を排除。

## ■ 紙媒体返信用封筒



## ■ 「調査のご説明」チラシ (回答方法案内、ID・PW等)

**調査のご説明**  
はじめにお読みください

〒XXX-XXXX  
 熊本県〇〇市〇〇X-X-X  
 □□ □□様  
 整理番号バーコード

**この封筒に入っているもの**

- ① 熊本市圏パーソントリップ調査ご協力のお願
- ② 調査のご説明(このチラシ)
- ③ 個人票の記入にあたって/個人票の記入例(表裏)
- ④ 調査票(回答用紙です。【世帯票】・【個人票】・【普段の生活などに関する調査】についてご回答ください。)
- ⑤ 返信用封筒
- ⑥ ボールペン(記入にご利用ください。使用後はご自宅でお使いください。)

**【回答の流れ】**

**回答の依頼**

10月~11月にかけて調査依頼および調査票等が郵送されてきます。

**インターネットで回答**

ホームページへ  
(<https://www.r-kumamoto-pt.jp/>)  
アクセスし、画面表示にしたがって回答してください。

**調査票で回答**

郵送された調査票に記入してください。

**調査票を送信**

ご記入いただいた調査票を同封した返信用封筒にてご返送ください。なお、切手は不要です。

終了

**回答方法・回答期限について**

インターネット(推奨)または、同封いたしました調査票のいずれかの方法で回答期限内にご回答をお願いいたします。

**回答期限** | 令和5年●月●日(●)

**回答を頂く対象日**

個人票の移動に関する回答は、下記の対象日のいずれか1日をご記入ください。

**対象日** | 令和5年●月●日(●)~令和5年●月●日(●)

**推奨 方法①** インターネット(スマートフォンやパソコン)で回答する

下記「調査回答ページ」のアドレスにアクセスいただき、ログインIDとパスワードを入力の上、ご回答ください。(インターネットでご回答いただく際は、世帯の方が、一度にまとめて入力いただくスムーズです。)

**調査回答ページはこちら**

調査回答ページのアドレス <https://www.r-kumamoto-pt.jp>

あなたの世帯のログインID・パスワード

ログインID: 123456789  
パスワード: abcdef

スムーズに回答できるモン

※配布のログインID、パスワードを紛失しないよう十分ご注意ください。本紙を破棄される際についても十分注意して破棄してください。

- 同一世帯内で、紙面による回答、WEBによる回答は世帯員が任意に選択可能とする。
- 紙媒体、WEBアンケートともに整理番号で管理するため、整理番号が重複した場合は、回答内容を見たとうえで回答の精度が良い方を採用し、重複分を排除する。

## (4) 回収率向上方策 (Web回答率の向上)

● 本体調査におけるWEB回答の割合は、回答率を向上させる対応策を実施し、30%と想定。

調査名	WEB回答率	WEB回答率を向上させる対応策			
		WEB回答者へのインセンティブ	広報	スマホによる回答	先行WEB調査
①R5熊本PT	約30%	・電子マネーギフト券	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長、くまモンによる街頭PR</li> <li>・首長（県知事、熊本市長）連名の依頼文発送</li> <li>・ポスター、チラシ、新聞、テレビ、ラジオによるPR</li> <li>・対象自治体の広報誌</li> <li>・SNS（Facebook、Twitter等）によるPR</li> </ul>	○	—
②H24熊本PT	約9%	・特になし （紙の調査票一式送付時にボールペンを同封）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長、くまモンによる街頭PR</li> <li>・首長（県知事、熊本市長）連名の依頼文発送</li> <li>・ポスター、チラシ、新聞、テレビ、ラジオによるPR</li> <li>・対象自治体の広報誌</li> </ul>	—	—
③H29北部九州PT	約22%	・特になし （紙の調査票一式送付時にボールペンを同封）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首長（福岡県・佐賀県・北九州市・福岡市）連名の依頼文発送</li> <li>・広報誌（福岡県及び自治体）、新聞、テレビ、ラジオ、ホームページ、ポスター、ツイッターによるPR</li> </ul>	○	—
④H30東京PT	約46%	・特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター、広報誌（一部の関係都県及び自治体）、パンフレット、記者発表、テレビ、ラジオ、ホームページ、ツイッター、Facebook、LINEによるPR</li> </ul>	—	○
⑤R3全国PT （九州）	約28% （熊本27%）	・特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国交省ホームページ</li> <li>・対象自治体の広報</li> </ul>	—	—
⑥R4西遠PT	約39%	・特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会ホームページ</li> <li>・対象自治体の広報</li> <li>・ポスター、チラシ、新聞、ラジオによるPR</li> </ul>	○	○
⑦山形広域都市圏PT	約14%	・抽選で賞品を進呈	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーペーパー</li> <li>・対象市町村の広報誌</li> <li>・マラソン大会によるPR</li> </ul>	—	—

# (4) 回収率向上方策 (Web回答率の向上)

- 前回の熊本PT調査では、調査票一式にボールペンを同封。
- 今回は、紙での回答者、WEB回答者それぞれに謝礼を進呈する方式を採用。

- 前回同等とした場合のインセンティブ予算額 = 約550万円  
(約58,000世帯×94円)
- ・ 前回H24PT調査では、調査票配布時に、くまモンロゴ入りボールペンを同封

- 今回、回答者に対してのみインセンティブを付与
- ・ Web回答者  
約7,500人×(100円+75円)+50万円=約180万円
- ・ 紙回答者  
約17,400人×(94円+53円)=約260万円

	前回	今回
紙媒体回答者	調査票一式にボールペン同封 (対象世帯に一律送付)	回答者のみボールペンを進呈
WEB回答者	調査票一式にボールペン同封 (対象世帯に一律送付)	選べるギフト券を進呈 (100円分)
費用	約550万円	約440万円
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全対象者に平等な謝礼を進呈</li> <li>・ 前回同様の謝礼を進呈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙媒体回答者、WEB回答者ともに謝礼が進呈</li> <li>・ WEB回答促進に寄与</li> <li>・ 回答者が任意のギフト券を選択可能</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未回答者に謝礼を送付するため、回答者へのメリットなし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進呈方法はメールが基本であるが、現物(ギフト券)を進呈の場合は、カード作成費、郵送費が別途費用が発生</li> </ul>

## ■ ボールペンイメージ



## ■ 選べるギフト券イメージ

2022年12月現在

Point1 誰もがうれしい交換メニュー  
全国規模の店舗やネットショップで使える電子マネー等が全18種類

Point2 オリジナルギフトへカスタマイズ  
全選取が可能な、ターゲットに合わせたカスタマイズも可能

Point3 仕入稼働が削減  
ユーザーが選んで交換できるので、事前のクオーストや在庫管理が不要

## (4) 回収率向上方策 (Web回答率の向上)

- 前回の熊本PT調査では、調査票一式にボールペンを同封。(前回同様で約550万円)
- 前回の回収率が良好であったことを踏まえ、調査全体の回収率を担保するために、紙での回答者、WEB回答者への謝礼を進呈する方式を採用。

### (参考) 抽出間隔の設定根拠及び市町村別抽出目標数

	居住人口	5歳以上人口	世帯数	5歳以上 世帯構成数	有効回収率	有効個人数	有効世帯数	設定回収率	調査対象世 帯数(発送)	調査対象個 人数(発送)	予備率	抽出数	予備数	抽出間隔
	(R4.1)	(R4.1)	(R4.1)	(R4.1)										
	a	b	c	d=b/c										
熊本市	725,630	694,412	349,886	1.98	2.40%	16,666	8,397	25.00%	33,589	66,664	20.00%	40,307	6,718	8.7
宇土市	36,359	34,977	15,564	2.25	2.40%	839	374	25.00%	1,494	3,358	20.00%	1,793	299	8.7
合志市	63,390	59,883	25,503	2.35	2.40%	1,437	612	25.00%	2,448	5,749	20.00%	2,938	490	8.7
大津町	35,372	33,542	15,371	2.18	2.40%	805	369	25.00%	1,476	3,220	20.00%	1,771	295	8.7
菊陽町	42,917	40,514	18,493	2.19	2.40%	972	444	25.00%	1,775	3,889	20.00%	2,130	355	8.7
西原村	6,639	6,402	2,723	2.35	2.40%	154	65	25.00%	261	615	20.00%	314	52	8.7
御船町	16,942	16,245	7,349	2.21	2.40%	390	176	25.00%	706	1,560	20.00%	847	141	8.7
嘉島町	9,787	9,192	3,892	2.36	2.40%	221	93	25.00%	374	882	20.00%	448	75	8.7
益城町	33,343	31,817	13,888	2.29	2.40%	764	333	25.00%	1,333	3,054	20.00%	1,600	267	8.7
甲佐町	10,256	9,907	4,378	2.26	2.40%	238	105	25.00%	420	951	20.00%	504	84	8.7
宇城市	57,432	55,336	24,847	2.23	2.40%	1,328	596	25.00%	2,385	5,312	20.00%	2,862	477	8.7
菊池市	46,648	44,894	19,641	2.29	2.40%	1,077	471	25.00%	1,886	4,310	20.00%	2,263	377	8.7
都市圏計	1,084,715	1,037,121	501,535	2.07	2.40%	24,891	12,037	25.00%	48,147	99,564	20.00%	57,777	9,629	8.7

有効個人数 (24,891人) の紙媒体、WEBによる回答者数

WEB :  $24,891 \text{人} \times 30\% = 7,467 \text{人}$

紙媒体 :  $24,891 \text{人} - 7,467 \text{人} = 17,424 \text{人}$

有効個人数 (24,891人) の紙媒体、WEBによる回答者へ郵送する世帯数

WEB :  $7,467 \text{ (人)} / 2.07 \text{ (人/世帯)} = 3,611 \text{世帯}$

紙媒体 :  $17,424 \text{ (人)} / 2.07 \text{ (人/世帯)} = 8,426 \text{世帯}$

## (4) 回収率向上方策 (Web回答率の向上)

- WEB調査の操作性向上を目的とし、事務局関係者でモニター調査を実施 (6/20～6/30 : 約300名)。
- 「設問の表現が曖昧」「選択肢が不十分」「検索機能の精度向上」といった意見あり。
- 技術的検証等を踏まえ、調査開始までに適宜対応。

対象	主な意見
本体調査共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住所入力後に施設名の入力が必要か。</li> <li>・ 回答の進捗がわかるようにページ数や進捗ゲージを追加して欲しい。</li> </ul>
世帯票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世帯主が回答するよう案内しているにもかかわらず、代理回答についての設問がある。</li> <li>・ 郵便番号と住所が一致していなくても回答が可能になっている。</li> <li>・ 施設名検索を利用したのに施設名が自動入力されない。</li> </ul>
個人票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明資料には「下記対象日のいずれか1日について回答」となっているが、WEBでは日にちが指定されていた。どちらが正しいかわからない。</li> <li>・ (2人目以降)回答者の選択肢に本人がない。</li> <li>・ 回答方法(紙・WEB)に関する設問は不要か。</li> <li>・ 乗用車を移動手段とした場合の設問で「あなた」が誰を指しているかわからない。</li> <li>・ 移動手段の「10.自家用バス・貸切バス(送迎バスを含む)」において、自家用バスと送迎バスは選択肢を分けるべきではないか。(送迎バスでも乗車人数の回答が必須になるため)</li> <li>・ 乗車人数の回答対象に自家用バスも追加するべきではないか。</li> </ul>
付帯調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私事活動の目的地例(施設名)が活動の種類と合っていない。</li> <li>・ 目的地を地図から検索できるようにしてほしい。</li> <li>・ 目的地を回答しないと移動手段が回答できないのは不便。</li> <li>・ 休日とは土日祝日を指しているか。</li> <li>・ 外出頻度は私事活動について聞いているのかわからない。</li> <li>・ 外出頻度と外出日数の回答順を変更して欲しい。(いつ時点の外出日数を聞かれているのか混乱する)</li> <li>・ 魅力的に感じる移動支援サービスの一人称がわからない。(本人、同世帯者、熊本都市圏)</li> </ul>

# (4) 回収率向上方策 (Web回答率の向上)

- 広報媒体等でパーソントリップ調査の実施を知った住民が、自主的に調査協力いただけるようにWEB調査 (オープン調査) を開設。



あら、こんな調査やっているのね？  
熊本のことだし、やってみようかしら？

## ■ 調査対象者

調査票配布対象世帯で未回答の世帯もしくは未配布の世帯で5歳以上の世帯員 (熊本都市圏外の方も対象)

## ■ 調査内容

調査票配布対象世帯の調査と同様に、本体調査、付帯調査を実施。

## ■ 結果の利用

抽出調査とは別に集計し、調査結果を補完するために利用

## ■ 調査期間

令和5年10月下旬～

調査票配布と混同しないように、第3ロット配布後から開設 (行動回答期間：第3ロットと同期間とする。)

## ■ 調査方法

調査対象世帯が回答するWEB調査を活用し、オープン調査用に編集したものを開設。

広報媒体 (ポスター、チラシ、広報誌、新聞等) に掲載のQRコードもしくは協議会ホームページのバナーから回答。

## ■ オープン調査でのログインID、PWの発行方法

パーソントリップ調査のご回答にご協力いただくために、お手順をおかけいたしますが、メールアドレスのご登録をお願いします。後ほど、ログイン用のID、PWをメールを配信いたします。

メールアドレス

送信

サーバーに  
メールアドレス  
の登録

登録者の  
メールアドレスに  
ID、PWを送付



# (4) 回収率向上方策 (調査への認知度向上)

- 他都市のホームページコンテンツを参考に、「協議会について」、「パーソントリップ調査について」、「調査データの提供について」、「公表資料について」、「リンク集」で構成。
- ポスター・チラシは、各市町村やコミュニティセンター、バス会社、市電等交通事業者への配布を予定。

## ホームページ



### 新着情報

2023/00/00 熊本都市圏総合交通計画協議会のHPを公開しました。



#### 協議会について

社会情勢の変化を踏まえた将来の交通のあり方について検討を行っています。

[詳しくはこちら >](#)



#### パーソントリップ調査について

どのような人が、どこに・何の目的で、どのような交通手段で移動したかを調査するものです。

[詳しくはこちら >](#)



#### 調査データの提供について

第4回パーソントリップ調査以降の調査結果についてデータを提供しています。

[詳しくはこちら >](#)



#### 公表資料について

第1回パーソントリップ調査や熊本マスタープランなどについて資料を公表しています。

[詳しくはこちら >](#)

くまモんイラスト：©2010熊本県くまモん

TOP | [協議会について](#) | [パーソントリップ調査について](#) | [調査データの提供について](#) | [公表資料について](#) | [リンク集](#)

## ポスター・チラシ



# (4) 回収率向上方策 (調査への認知度向上)

- 街頭での調査協力依頼では、下通アーケードにて実施。県知事、熊本市長、くまモン等に出動を依頼。
- 広報誌は、各自治体が発行している広報誌への掲載を基本とし、各誌面に合わせた記事を作成。

## 街頭での調査協力依頼



H24調査時の街頭での調査協力依頼実施状況



## 広報誌

【A3版】



【A4版】



【A5版】



# (4) 回収率向上方策（調査への認知度向上）

- 新聞・ラジオ・テレビは、街頭での調査協力依頼風景の紹介や調査開始の告知、調査回答の方法等を広報。
- SNSは、熊本県内で多く利用されているかつ拡散機能を有するTwitter、Facebookを活用。

## 新聞

- ・地方紙・全国紙（計5社）の掲載枠を確保。
- ・調査の概要や街頭での調査協力依頼風景を記事にしてもらう等働きかけを実施。

## ラジオ

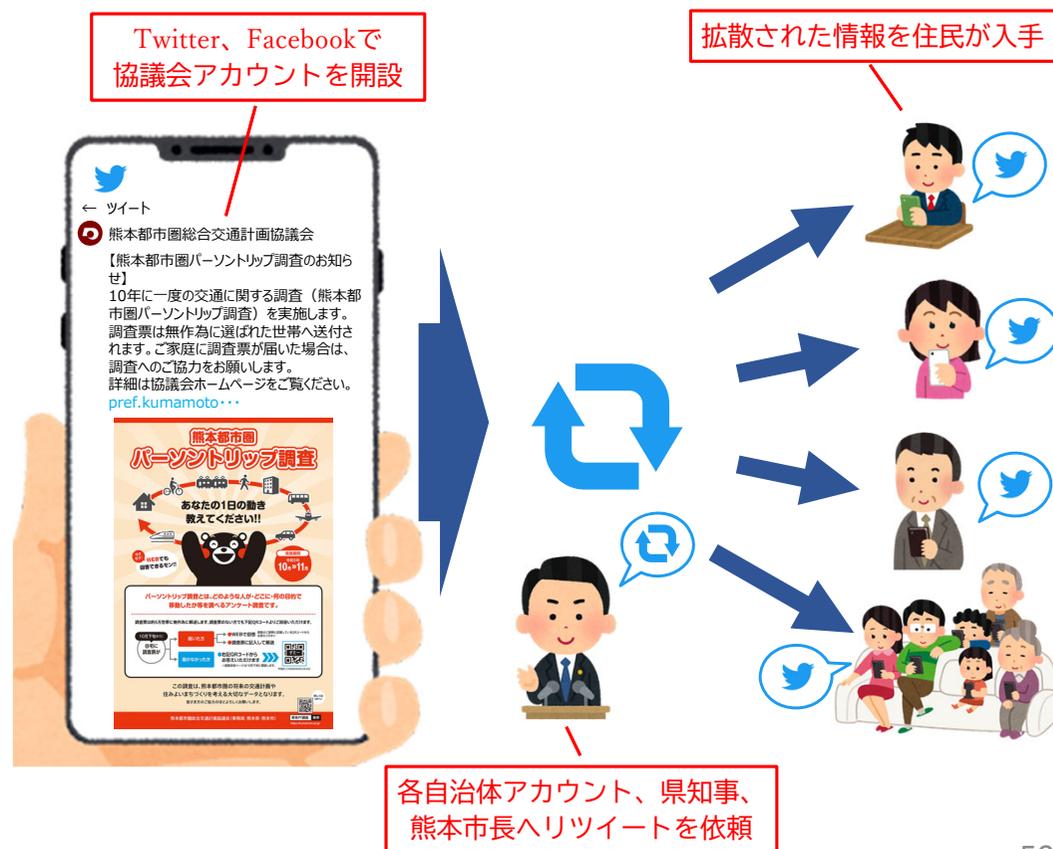
- ・県政、市政ラジオの放送枠を確保。
- ・調査目的や概要、調査開始の告知を放送。

## テレビ

- ・県政、市政テレビの放送枠を確保。
- ・ラジオと同様、調査目的や概要、調査開始の告知を放送。
- ・また、キャスターの方に実際に回答してもらうなどして、回答方法についても放送。

## SNS

- ・熊本県内で約10万人のフォロワーを有するTwitter、Facebookにて、協議会アカウントを開設し、「PT調査のお知らせ」を発信。
- ・より多くの住民が「PT調査のお知らせ」を入手するため、各自治体アカウントや県知事、熊本市長へリツイート（拡散）を依頼。



# (4) 回収率向上方策 (調査への認知度向上 (広報スケジュール))

R5		5月	6月	7月				8月				9月			10月										
※日付は月～日曜日で表記				3~9	10~16	17~23	24~30	31~6	7~13	14~20	21~27	28~3	4~10	11~17	18~24	25~1	2~8	9~15	16~22	23~29	30~31				
協議会・ お願いハガキ・調査票一式・ お礼兼督促状発送		☆ 幹事会		★ 委員会										第1ロット ●お願いハガキ ■調査票一式 ▲お礼兼督促状											
														第2ロット ●お願いハガキ ■調査票一式 ▲お礼兼督促状											
														第3ロット ●お願いハガキ ■調査票一式 お礼兼督促状▲											
くまモンを活用した広報活動	ホームページ			☆ ホームページ公開																					
	ポスター							← 配布 →				← 掲示・設置 →													
	チラシ							← 配布 →				← 掲示・設置 →													
	街頭での調査協力依頼							☆																	
広報媒体を活用した広報活動	県広報誌「県からのたより」 ☆広報誌掲載																					☆			
	市町村広報誌 ☆広報誌掲載																					☆			
	新聞「熊本県からのお知らせ」 熊日、朝日、読売、毎日、西日本																					☆			
	テレビ	TKU「GO!くまモン☆ナビ」																					☆		
		RKK「こんばんは熊本市」																					☆		
	ラジオ	RKK「ふれあいくまもと」																					☆		
	FMK「県庁ダイアリー」																					☆			
	FMK「RADIO BUSTERS」																					☆			
報しをS 活た活N 動広用S	SNS Twitter、Facebook																					☆ SNS公開			

### **3 将来像の仮設定及び調査内容の整理**

# 3 将来像の仮設定及び調査内容の整理

- 現都市交通マスタープランにおいては、「多核連携型の都市圏構造」を都市圏の将来像とし、その形成を支援するため交通ネットワークの将来像（公共交通網ネットワーク、道路ネットワーク）などを設定。

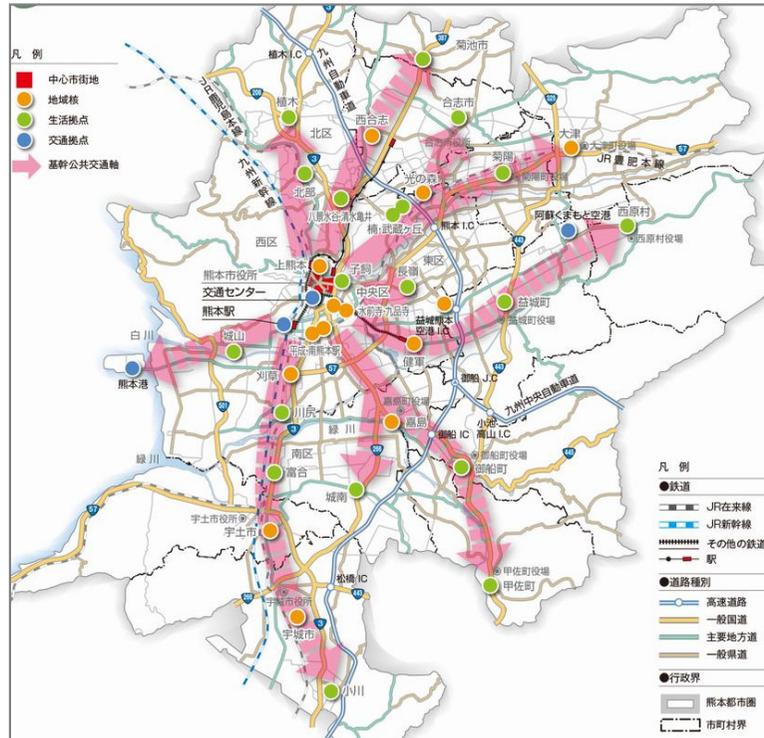
現都市交通マスタープランにおける将来像（現都市交通マスタープランより引用）

## ● 都市圏の将来像：多核連携型の都市圏構造

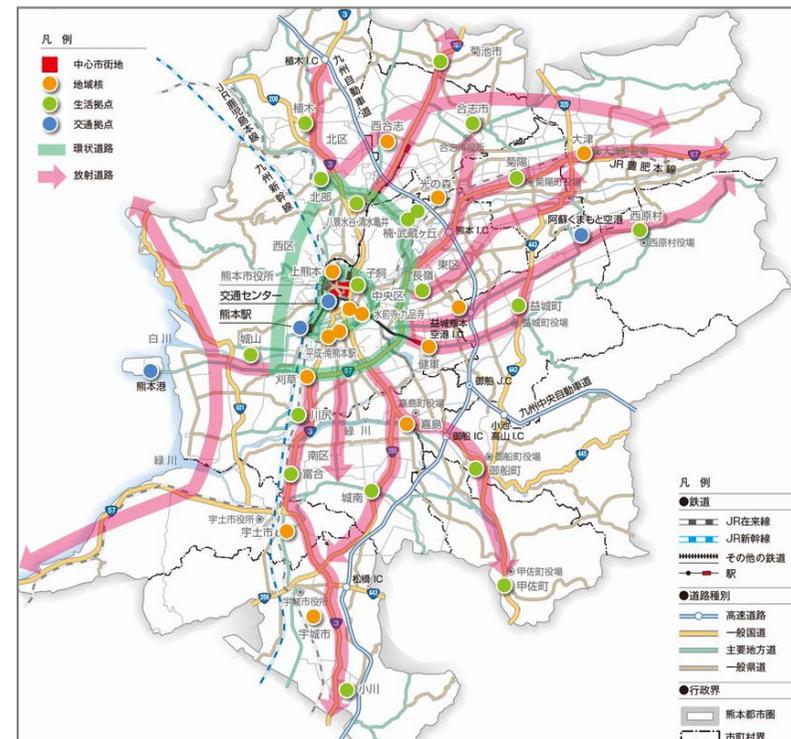


## ● 交通ネットワークの将来像

【公共交通網ネットワーク】  
放射8方向の基幹公共交通軸



【道路ネットワーク】  
2環状11放射の骨格幹線道路網



整備方針

- 道路・・・2環状11放射道路網の形成促進、交差点改良 など
- 公共交通・・・ゾーンシステム導入、幹線区間やネットワーク強化 など
- まちなか交通・・・歩行空間のネットワーク形成 など

# 3 将来像の仮設定及び調査内容の整理

## これまでの協議会での審議事項

【令和4年 7月】	【令和4年12月】	【令和4年12月】	【令和5年3月】	【令和5年5月】	【令和5年7月】
熊本都市圏総合交通計画協議会 第1回委員会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第1回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第2回委員会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第2回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第3回幹事会	熊本都市圏総合交通計画協議会 第3回委員会
<b>【審議事項】</b> (1) 協議会について (2) 総合都市交通体系調査について (3) 実態調査の概要 (4) 今後のスケジュール  ・これまでの総合都市交通体系調査の概要の確認 ・今回調査の背景及び目的の確認 ・今回調査の計画課題の確認 ・調査対象エリア案の確認（対象自治体案） ・目標サンプル数の考え方（案）の確認	<b>【審議事項】</b> (1) 協議会について (2) 熊本都市圏交通実態調査について <b>【①熊本都市圏交通実態調査の概要 ②実態調査の概要 ③今後のスケジュール】</b>  ・PT調査の必要性確認 ・今回調査の背景及び目的の確認 ・今回調査の計画課題の確認 ・現在マスタープランの振り返り <b>・熊本都市圏交通の将来像の検討内容の確認</b> ・熊本都市圏総合都市交通体系調査の流れの確認 ・調査対象エリアの確認（対象自治体案、ゾーニング案） ・目標サンプル数及び調査方法の確認 ・予測モデルの確認（アクティビティベースモデル）	<b>【審議事項】</b> (1) 第1回委員会資料 (2) 熊本都市圏総合都市交通体系調査 (3) 実態調査 (4) 今後のスケジュール  ・これまでの総合都市交通体系調査の概要の修正 ・今回調査の計画課題の追加 <b>・熊本都市圏交通の将来像の検討内容の確認</b> ・熊本都市圏総合都市交通体系調査の手順の確定 ・調査対象エリアの確定（対象自治体、ゾーニング） ・目標サンプル数及び調査方法の確定 ・予測モデルの確定 ・本体調査の1年延期の確定	<b>【審議事項】</b> (1) 第2回委員会での意見及び対応方針について (2) パーソントリップ調査について <b>【①熊本PT調査方針について ②熊本都市圏交通実態調査(案) ③今後のスケジュール】</b>  <b>・熊本都市圏交通の将来像(仮設定案)</b> <b>・検討したい施策の評価イメージの確認</b> ・調査内容の確認（調査票案、付帯調査案、補完調査案（コードライン調査案、着地調査案、スクリーンライン調査案） ・回収率向上策案の確認 ・PRや関係者の意見聴取案の確認 ・予測モデルの事前検討を実施することの確認	<b>【審議事項】</b> (1) 第2回幹事会での意見及び対応方針について (2) パーソントリップ調査について <b>【①熊本都市圏交通実態調査(案) ②今後のスケジュール】</b>  <b>・熊本都市圏交通の将来像(仮設定修正案)</b> <b>・検討したい施策の評価イメージの修正案確認</b> ・調査内容修正案確認（調査票案、付帯調査案、補完調査案（コードライン調査案：調査票案の提示、着地調査案、スクリーンライン調査案） ・WEB調査票（例示、WEB調査票への誘導、併用回答の許容） ・各種調査マニュアルの確認 ・広報戦略の確認	<b>【審議事項】</b> (1) これまでの協議会について (2) 実態調査について <b>①本体調査 ②付帯調査 ③補完調査 ④回収率向上方策</b>  (3) 将来像の仮設定及び調査内容の整理 (4) 今後のスケジュール

### 3 将来像の仮設定及び調査内容の整理

#### 委員会、幹事会の指摘事項を踏まえた対応

##### 第2回委員会（R4.12）ご意見

- ① 定量的な評価を見据えて将来像の基本方針を打ち出す必要がある。
- ② モデルの検討において、評価したい具体的な施策を整理すべき。

##### 第2回幹事会（R5.3）ご意見

- ③ 将来像の仮設定における環境負荷の低減という視点が、施策展開の方向性のどこにあたるかわかりにくい。
- ④ 環境負荷の低減が図れるような評価指標があればわかりやすい。

# 3 将来像の仮設定及び調査内容の整理

## ■「基本方針」・「施策展開の方向性」に対応する「具体的な施策」など（仮設定）

定量的な評価を想定

環境負荷の低減がわかるような評価指標を今後検討

具体的な施策の対応も含め体系的に整理

基本方針 (仮設定)	施策展開の方向性 (仮設定)	具体的な施策 (仮設定)	P T 調査による検討内容	分析内容 (P T 施策評価or 個別事業評価)	評価方法 (アクティビティ) 【他モデル活用】	評価 指標
<b>都市圏交通ネットワークの強化と車から公共交通への転換による都市圏交通の円滑化</b>  視点：環境負荷の低減、安全・快適な都市圏交通	<b>基幹公共交通軸の形成</b>	基幹公共交通 8 軸の機能強化	8 軸の機能強化施策による効果（公共交通への転換量等）を都市圏で全体的に検証・分析	整備後の需要予測	（交通手段別量の需要量の予測）	公共交通利用者数
		①空港アクセス鉄道の整備	P T 調査結果から推計した空港アクセス鉄道整備後の需要量を反映させた公共交通全体の需要量を把握	整備後の需要予測 （個別事業評価）	（交通手段別量の需要量の予測）	
		②交通結節点（乗換拠点）の整備	各交通結節点の（属性別、周辺利用の変化を踏まえた）将来予測を行い、移動支援の需要が多い箇所を把握	整備後の需要予測 （P T 施策評価）	（属性別の結節点利用等）	結節点での公共交通利用者数
		③バスレーンの導入・拡大	バスレーン整備における効果検証（向上速度、利用者数、転換量等）	整備後の需要予測 （P T 施策評価）	（バスレーンを利用するピーク時の公共交通需要予測）	遅れ時間、向上速度、利用者数 等
	④市電の延伸・機能強化	・利用者数が増加する属性の把握 ・ピーク時の自動車からの転換量推計 ・利用者の立ち寄り行動によるまちの賑わい向上効果検証	整備後の需要予測 （P T 施策評価）	（属性別の行動、立ち寄り行動など）	市電利用者数	
	<b>幹線道路ネットワークの形成</b>	⑤骨格幹線道路ネットワークの整備 【3 連絡道路の整備】 【2環状11放射道路網等の整備】	骨格幹線道路（2 環状 1 1 放射道路網等）整備後のネットワーク全体の効果検証 ※）3 連絡道路は、ルート等検討中のため反映困難	整備後の需要予測 （P T 施策評価） ※）3 連絡道路は、ルート等検討中のため（個別事業評価）	【自動車交通量の推計】	温室効果ガスの削減割合
		⑥都市内幹線道路ネットワークの整備 【都市計画道路等の整備】 【渋滞箇所の交差点改良等】	・交通推計結果等に基づく課題（役割分担や交差点改良箇所等）の抽出 ・ピーク時間の交通実態を踏まえた渋滞対策の検討	整備後の需要予測 （P T 施策評価）	（時間帯別需要予測） 【ピーク時自動車交通量】	低速度区間延長割合
		⑦周辺部道路ネットワークの整備（産業集積等） 【セミコンテクノパーク周辺道路の整備】	TSMC進出等による交通需要増の量及び道路整備等による渋滞軽減の量	整備後の需要予測 （P T 施策評価）	（時間帯別需要予測） 【ピーク時自動車交通量】	低速度区間延長割合
<b>公共交通を利用しやすい環境づくり</b>	⑧MaaSの構築	各交通結節点の（属性別、周辺利用の変化を踏まえた）将来予測を行い、移動支援の需要が多い箇所を把握 高齢者など移動困難者における属性別の交通分担、移動支援需要の把握	整備後の需要予測 （個別事業評価）	（交通手段別量の需要量の予測）		

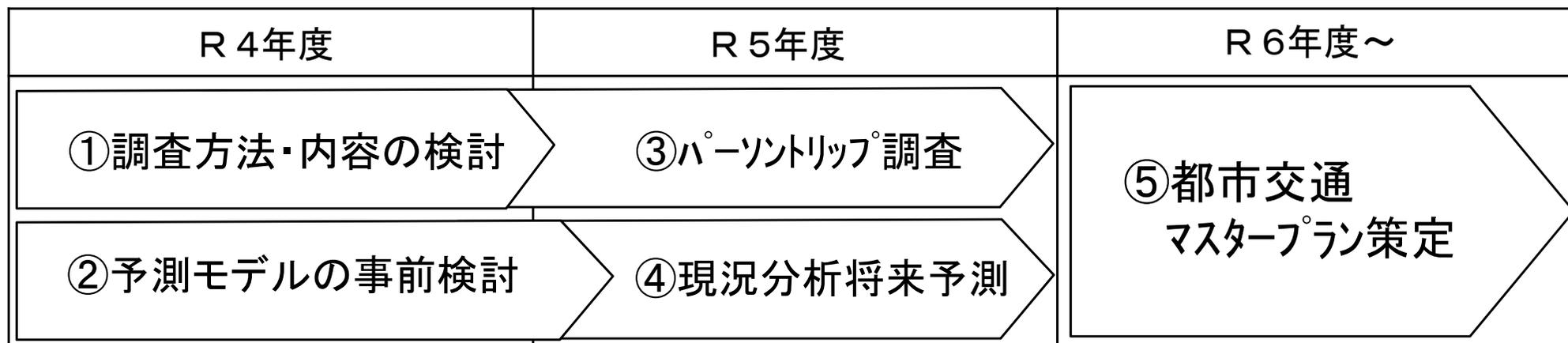
環境負荷の低減、安全・快適な都市圏交通を追加

※都市交通マスタープランにおける将来像（基本方針や施策展開の方向性）については、今後、“まちなか交通”に関する将来像「誰もが歩いて楽しめるウォーカブル都市の実現」等の設定についても検討。

## 4 今後のスケジュール

# 4 今後のスケジュール

## 全体スケジュール



## 令和5年度のスケジュール

	R5							R6		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①調査方法・調査内容の検討	→									
③パーソントリップ調査	→									
					実態調査 R5年10月～11月					
②予測モデルの事前検討										
都市圏交通の将来像の仮設定	→									
提案施策の検証	→									
残存課題の整理			→							
④現況分析・将来予測								→		
協議会 (委員会★・幹事会☆)		★					☆		☆	★